

湯 本 の 家

改 築 物 語

豊田設計事務所
豊田善幸

湯本の家改築物語

目次

2008・03・10 (月)	基本設計進行中です	1
2008・03・25 (火)	基本設計ほぼ終了!	3
2008・04・15 (火)	基本設計完了♪	5
2008・05・19 (月)	ピンチなのか?	7
2008・06・24 (火)	地盤調査	8
2008・07・06 (日)	吹抜けの高さと神棚	11
2008・07・14 (月)	断熱計算	14
2008・07・15 (火)	確認申請	17
2008・07・17 (木)	メカ好きのツボ!	18
2008・07・18 (金)	実施設計終了～～♪	21
2008・07・28 (月)	見積もり調整中	23
2008・09・03 (水)	土壁のエネルギー	26
2008・09・07 (日)	構造打ち合わせ	31
2008・09・10 (水)	解体中です	33
2008・09・16 (火)	解体完了・・・何もなくなった・・・	35
	地縄	36
2008・09・20 (土)	台風情報を何度も見たよ!	38
2008・09・21 (日)	地鎮祭	39
2008・10・01 (水)	想定通りの地盤	41
2008・10・03 (金)	崖地条例対策	44
2008・10・07 (火)	設備ピット	47
2008・10・09 (木)	基礎工事開始	50
2008・10・10 (金)	断熱型枠	53
2008・10・11 (土)	配筋検査	56
2008・10・12 (日)	パワーバランス	58
2008・10・15 (水)	アンカーボルト	60

2008・10・16 (木)	脱型開始	63
2008・10・17 (金)	何度見てもいいね	65
2008・10・23 (木)	いよいよ始まります！	68
2008・10・24 (金)	ラッピング	72
2008・10・27 (月)	ドキドキしてきた♪	74
2008・10・28 (火)	祝上等！	76
2008・10・30 (木)	軒の出	78
2008・10・31 (金)	例によって「ヒラヒラ」しています。	81
2008・11・01 (土)	全体が見えた！	83
2008・11・03 (月)	目標「大きな設備用架台」	84
2008・11・05 (水)	ショールームをこじ開けろ！	88
2008・11・06 (木)	釘	90
2008・11・07 (金)	床下の設備工事開始！	93
2008・11・08 (土)	床下設備工事	95
2008・11・10 (月)	設備配管スペース	98
2008・11・12 (水)	屋根できた！	100
2008・11・14 (金)	ロフトの窓	103
2008・11・15 (土)	ちょっとだけ到着	106
2008・11・16 (日)	外壁の色・・・思案中	109
2008・11・18 (火)	外壁防水下地	112
2008・11・21 (金)	浴室工事	115
	形に機能を付け加える	118
2008・11・23 (日)	屋根通気工法	121
2008・11・26 (水)	外壁通気層	124
2008・11・27 (木)	始まりました。	127
2008・12・01 (月)	先貼りシートは先読みシート	130
2008・12・05 (金)	断熱工事終了	134

2008・12・06 (土)	見学会は無事終了致しました。 -----	138
2008・12・08 (月)	道具箱を肩に担いでえ～♪ -----	141
2008・12・10 (水)	床材を見に行ってきました！ -----	144
2008・12・13 (土)	吹き抜け -----	148
2008・12・17 (水)	床が仕上がりましたが・・・ -----	150
	違わないって！ -----	152
2008・12・18 (木)	下地完了 -----	154
2008・12・24 (水)	階段 -----	157
2008・12・26 (金)	階段完成！ -----	159
2008・12・29 (月)	現場は大掃除中！ -----	161
2009・01・08 (木)	吟味します -----	163
2009・01・11 (日)	梯子♪梯子♪ -----	167
2009・01・15 (木)	食堂の窓 -----	169
2009・01・16 (金)	机の設計は・・・リユースです (赤面) -----	171
2009・01・19 (月)	夏の通風計画 -----	174
2009・01・23 (金)	戻りガラリ -----	176
2009・01・28 (水)	堀炬燵 -----	180
2009・02・02 (月)	手摺り -----	183
2009・02・06 (金)	階段の手摺り制作中 -----	187
2009・02・09 (月)	好きです格子 -----	189
2009・02・11 (水)	外ルーバー -----	192
2009・02・12 (木)	建具工事中 -----	194
2009・02・15 (日)	緩やかな間仕切り -----	197
2009・02・16 (月)	ブラレールが入る予定です -----	200
2009・02・19 (木)	「ハイブリッド暖房」って呼ぶ？ -----	202
2009・02・22 (日)	案内状完成！ -----	206

湯本の家改築物語

2009・02・26 (木)	ハシゴ	208
2009・03・02 (月)	ありがとうございました。	210
2009・03・04 (水)	更に省エネを目指します！	212
2009・03・13 (金)	ハニカムサーモスクリーンが付いた！	215
2009・04・04 (土)	緑化率	219
2009・04・06 (月)	「CASBEE」やってみた	221
2009・04・07 (火)	「省エネ基準達成率」を計算してみた	223

2008・03・10（月）

基本設計進行中です

岸壁の上え～

落ちる涙は積もることの無い～

まるでえ～海いい雪いい～♪

J E R Oの演歌が脳内パワープレー状態です（謎）

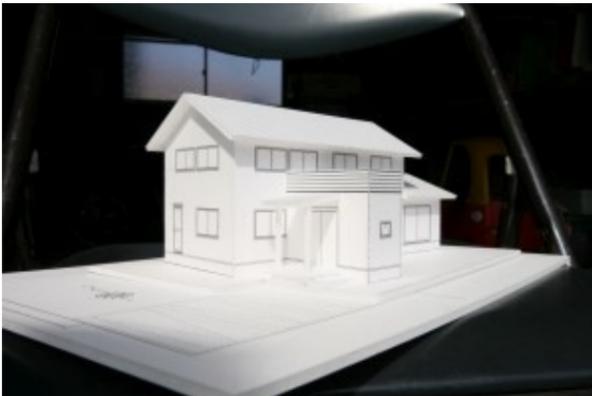
週末に基本設計進行中の家の打ち合わせをしてきました。

工事費以外に必要な「解体」「外構」「税金」「融資手数料」等

総予算を書き出していきますので、

お客様がテンションを維持していただけるよう

ホワイト模型を用意することにしました（お！）



A案（なんとなくマンネリ気味の外観）



B案（ちょっと頑張った外観）

徐々に方針が固まってきましたので
ここで固めようと頑張ったのですが、
お客様から言われた大切な設計条件が抜けていた・・・
もうちょっと頑張ります（涙）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

あなた追って出雲崎い～♪

悲しみの日本海いい

愛を失い岸壁の上え～♪

次の飲み会、歌う気満々～～～♪

まるでえ～海いい雪いい～♪

2008・03・25（火）

基本設計ほぼ終了！

長いこと机の上で「コネコネ」していた『湯本の家』ですが、ようやくお客様を喜ばせることができました。

お客様の好みに合わせつつ、私の拘りも崩さない
おまけに敷地のポテンシャルを活かした性能の家という
やや高めのハードルを設けていますので、
産みの苦しみは毎度のことです。

只今、概算工事費を算出中です。
予算内で納まりそうなら実施設計となり
きちんと設計契約を行います。

色々ありましたが、
前回の打合せで使った模型B案を基本にまとめます。
私には珍しい片流れ屋根ですが、路地の一番奥の敷地で
裏側からの見た目は気になりません。
それなら見えるところを頑張っちゃおう的デザインです。
(模型写真はこちら)

「大きすぎない空間」と「空気の動き」が今回の課題です。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

前回の打合せで使ったスタディー模型は、
当日の朝に完成したもので、ほとんど手にとって眺めていま
せん。

今回持ち帰る予定でしたが、
2週間の間にお客様の「大切なもの」になっていましたので、
プレゼントしてしまいましたよ♪

私信：

バイト君！

もう一つ作るよ！

2008・04・15（火）

基本設計完了♪

週末「湯本の家」の打合せがありました。
概算見積書と食堂部分のラフ（過ぎる）スケッチを用意して
打合せに挑み、無事基本設計完了です。

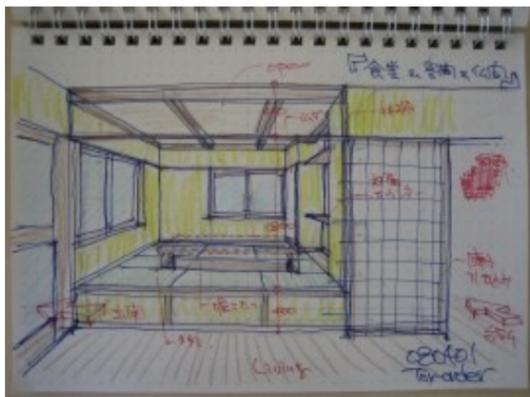
よその設計事務所はどうしているのかわかりませんが、
基本設計はお客様の要望をいかに聞き
満足する家のイメージを提案できるかが試される期間ですの
で、

私の事務所では（今のところ）ここまでは営業の範囲です。
だって、

1回で満足していただける場合もあれば、
何度頑張ってもイメージを共有できない場合もあります。
これにかかる時間は私の能力不足ですので、
基本設計料は契約後に一律でいただくようにしています。

契約できないと大変ですし、
契約まで時間がかかるとそれもまた大変です。
われながら大変厳しいルールを採用してしまったものです。

「湯本の家」のお客様はなかなか厳しかったですね（笑）



↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

これから契約のための図面と書類を作成します♪

らんらんるう～♪

2008・05・19（月）

ピンチなのか？

「湯本の家」の打ち合わせをしてきました。

基本設計もまとめ、設計契約直前の打ち合わせです。

それなのに、お客様はちょっと浮かない表情をしています。

かなり大きな買い物ですので、不安になる方もいますが、

今回は明らかに違います。

恐る恐る聞き出すと、

「融資金額について渋い返事が銀行から帰ってきた」とのこと

・・・

さて、

いろいろ検討しましたが、計画の規模縮小ですね。

カツオ君、ワカメちゃん、タラちゃんがいる

まるでサザエさんのような三世同居の家ですので

そこそこの広さが必要になりますが、

これをぎゅっぎゅっと絞っていきます。

設計契約はもう少し先になりそうですぅ～～～

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

いよいよ、仕事が終わらない予感がしてきました・・・

地盤調査

「湯本の家」の実施設計を進めています。

今回の敷地は北側に擁壁があり、

2mチョイこちらの敷地が高くなっています。

この「チョイ」が問題！

福島県の条例で2mを超える高低差は「崖地」と扱い

それなりの対処が必要となるのです。

きちんと設計された擁壁であれば問題ないのですが、

30年以上前につくられた、かなりいい加減な擁壁ですので

きちんと対処します。

既存の建物も擁壁側に傾いていますので

北側の地盤はかなり不安定であることが予想されます。

まずは地盤調査です。



写真にある「槍」を地面にねじ込んでいき
その抵抗値から地盤の状況を確認する方法です。

予想通り南側はガチガチですが、
擁壁近くは軟弱な状況でした。
只今どうやって対応しようか検討中です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

測定中の写真も撮影したのですが、
カメラを忘れて携帯で撮影したので、
ちゃんと保存されていませんでした（涙）
デジタル機器を使いこなせないのってオヤジだよね・・・

2008・07・06（日）

吹抜けの高さと神棚

「湯本の家」の設計打ち合わせをしました。
実施設計の打ち合わせですので、
せっかく描いたところがどんどん変更されていきます。
今回一番問題になったのが「神棚」

その家の神様が住む社（やしろ）ですが、
皆さん何かと気を遣います。
上を人が歩いてはダメ！
下をモノが出し入れされる場所もダメ！
向きはこちら！等々

相手は神様とされるほどの人格者でしょうから
毎日大切にさえていれば、
多少の無礼は目をつむって下さると考えるのはボクだけで、
殆どのお客様はかなり悩んで場所を決めます。
そんなとき
「マンションは最上階にしか神棚置けないじゃ～ん」
なんて言ってませんが、喉まで出かかります（←オイ！）

さてここからが本題です。

建物を厚い断熱材で包み、
ちょうどいい能力の暖房を小さく分散配置した家は
かなり快適になります。

2階に温水暖房を配置するとトラブルの元ですので暖房の熱が建物全体にバランスよく行き渡らせるために建物の中央付近に吹抜けを設けることが多くなります。

そして、

吹抜けに面して大きく解放できるようあれこれ考えます。

最初は子ども部屋の壁を撤去！

これで暖房の熱は問題なく広がります。

次は吹抜けの高さです。

最近のお客様は高い天井を求める傾向にありますが高すぎる天井は決して快適ではありません。

階段の段数も増えますし、建物から逃げる熱の量も大きくなり空調の維持費は高くなってしまいます。

湯本の家は大きな吹抜けが在りますので

それ以外の部屋の天井高さは極端に低くなっています。

これを凶面にしたところ、結構好きなプロポーションでチョット嬉しい。

かなり自信满满で打ち合わせに挑んだのですが

お客様からの非情な一言「天井低くて神棚が置けない」

うううう～～～～

神棚の件は前回の打ち合わせで話題になったのにいい～～

神様や仏様に近い位置に大家族で住むことは重要だと考えています。

そんな環境の子ども達は常識の通じる大人になりやすいのでは

？

これはボクの独自の理論ですが、
神棚への配慮より吹抜けのプロポーションを優先した時点で
誰からも信じてもらえないよね（笑）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

方位にも興味ないので、
「最近の設計屋さんは皆さんそうなの？」と叱られたり

2008・07・14（月）

断熱計算

「湯本の家」の実施設計がもうすぐ完了です。

断熱計算は基本設計時に行っていました

暖房の設計をするために実施設計に合わせて再計算しました。

窓の大きさや建物の高さなどが微妙に違っていますので

毎回このタイミングで計算値を修正しています。

凸凹が多い建物の計算はちょっと手間ですが、

自信を持ってギリギリの暖房能力を計画するためには

避けて通るわけにはいきません。

さて、その結果ですが、

年間暖房エネルギー消費量：430リットル（灯油）

1㎡当たりの年間灯油消費量は3.2リットルですので

そこそこ省エネだと言えます。

次世代省エネ基準ギリギリの家を「いわき」で計画した場合

年間暖房エネルギーは10kWh/㎡以上ですので

かなり省エネだと言えます。

それでも年間400リットルの灯油を消費しますので

省エネかと問われたときに自信満々で「ハイ！」とは言えない

しかも、灯油代は今年の冬には150円程度になる予感！

5年前の3倍の価格です。

そんなわけで、
さらに省エネとする方法を検討してみました。

① 太陽熱を取り込む

カラスの熱取得を考慮に入れたソフトを使っていますので
日射取得による省エネは期待できません。

② 開口部の断熱性能改善

主要な窓には断熱ブラインドを設置する計算ですので
こちらもこれ以上設置することは困難です。
窓の性能を上げるのも価格的に無理・・・

③ 断熱性能の強化

これ以上壁の断熱を厚くすることも無理・・・

④ 「換気」回数を調整する

これが驚くほど「効果あり」です。
例えば換気回数を0.5回/時のところ0.3回/時にして
計算すると、暖房エネルギー消費量は100リットル減ります。
熱交換型の換気扇を使えばもう少し減りますが、
予算の都合で使えない・・・
こうなったら、お客さんの耳もとで
「この換気扇を半分止めると年間一万五千暖房費が浮きますよ」
なんてささやく作戦で行くしかない？

⑤ 暖房以外のエネルギー消費量を減らす。

それでも灯油消費量は3分の1になりません。
ちなみに灯油代の半分は給湯用ですので、
最近では太陽熱温水器を紹介するようにしています。
これがかかなり省エネになります。
単純な設備ですので安価で長寿命！
日照時間の長い地域でしたら短期間で回収できる投資です。

アンチオール電化派の私は、
こんな面倒なことを考えているのです。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

玄関や窓の開閉もありますので
換気扇だけで換気する法律に違和感を感じるんですよね～
そんなわけで、法律に沿ってきちんと設置していますが、
運転方法についてはお客様に任せています。
(さらっとカミングアウト♪)

2008・07・15（火）

確認申請

「湯本の家」の実施設計がまもなく終了でします。
家具詳細・電気設備・外構詳細などが残っているのですが、
工事予算がオーバーしたとき
最初に減額工事の対象になる部分ばかりです。

どこまで描くべきか・・・

そんなことを悩みつつ、
昨夜は遅くまで建築確認申請書を作成しました。
姉歯事件のおかげで、申請が面倒になっていますので
かなり慎重に書類を用意するようになったのですが、
それでも小さな記入ミスがチラホラ・・・（赤面）

それでも何とか受け取っていただくことが出来ました。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

これから改正建築基準法の講習会に行ってきます。
構造計算書偽装事件に端を発した改正です。
あのおっさんがやらかしたことの尻ぬぐいは
業界全体で少しずつ負担する形で続いているのです。

2008・07・17（木）

メカ好きのツボ！

今日もドタバタです。

「湯本の家」の家具図を見積もり依頼のためメールで送り同じく建具表を建具屋さんに渡す。

同時に昨日打ち合わせした駅前の店舗の建具追加について色決めと納まりの確認。

そんなことをしていると「小名浜の家」のカタログが届く。必要なところに付箋を貼り準備完了。

超長期住宅についての原稿依頼の電話は即答せず外出。

「湯本の家」の確認申請の訂正をし、確認済書が手に入る。事務所に戻らず、別の自治体に移動！

もう一つの確認申請も手直し完了したのだが

建築主事不在のため確認済書は手に入らなかった・・・

事務所に戻って「小名浜の家」のカタログと工程表と

お客様用の製本図面を車に積み打ち合わせ。

打ち合わせ中に「湯本の家」の業者さんから図面内容の問い合わせ、

打ち合わせ終了後はそちらに寄り道。

かなりの予算オーバーとなる予感です・・・

全く図面を描かずに夜7時、ようやく仕事の時間です。

「湯本の家」は照明器具を選べば図面が全て揃いますので、なんととしても完成させたい！

設計の内容をチョット紹介

リビングに隣接する食堂は一段上がった小さな畳の部屋です。

(予算が許せば堀コタツを設置するつもり)

この部屋は、臨時の客間にもする計画ですので照明は悩みどころ

テーブル上のペンダントは低く設置したいが、

客間として使うときはもの凄く邪魔！

簡単に上下できる照明器具を検索したら発見しましたよ



by Seesaa ショッピング

Slimac ダイニングプーリーペンダント 白熱..

プーリーペンダントといいます。

本当に動くかは使ったことがないので分りませんが、

この滑車に惚れました。

男子はメカ要素にめっぽう弱いよ！

月曜日の打ち合わせでは上手に説明するぞっと (笑)

↓面白かったらホィ↓

住まいブログ

追記：

ネットを彷徨い続け気がつけばこんな時間・・・

眠くなってるし・・・

先月上旬にロストとプリズンブレイクに嵌ったことを深く後悔

おまけ3回目

2008・07・18（金）

実施設計終了～～♪

「湯本の家」の図面が完成しました。

各業者さんへの見積もり依頼も無事終了。

予算オーバーが予想されるので大胆な減額案も準備完了。

余程のローコスト住宅を設計している場合でなければ

新築の減額変更はいろいろ出来ます。

ただし、

お客様に対して

「見積り金額が算出されないと設計図通りに実施できるかは不明」

と説明しておかないと後でトラブルとなります。

基本設計完了の時点で概算見積もりを作成していますので

予算の範囲であるということまでは分かっているのですが、

実際に図面を描いているとデザインがエスカレートしたり、

内装や窓の開閉方法に拘ったり、

図面を細かく描くほど見積金額も高くなるというジレンマ！

最後は、

造り付け家具など色々考えた部分から減額していきます。

説明中はおお客様の悲鳴にも似たため息

もちろん私も切ない。

チョット無理目の設計から減らしていくアプローチは

ローコスト系ハウスメーカーのオプション積み上げ方式の

真逆の手法ですね。

予算内で最良の成果を目指すのであれば

予算オーバー気味の設計図面で業者さんと交渉するべきだと思っているのですが、理解していただくのに時間が掛かります。

確認申請も降りていますので

工事金額がまとまればいつでも着工可能です。

↓面白かったらホチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

「常陸の家」の設計が本格的に始まります。

2008・07・28（月）

見積もり調整中

「湯本の家」の見積もり調整が大詰めです。

解体工事の見積もりのために

業者さんと既存建物を調査に行きました。

お客様は近くのアパートに仮住まい中ですので

現在建物は空っぽです。

生活感のない家の中を見回すと、

新しい家に残したい「宝物」が幾つかあるのに気がつきました。

何度もお邪魔している家なのに、

空っぽになるまで気がつきませんでした。

「和室の欄間」「床柱」「神棚」

思い出がぎっしり詰まっている家ですので、

これらは丁寧に解体して、新しい家活用しないといけません！



階段の登り口にある「丸い柱」は、

35年前から子ども達の遊具として使われてきた痕跡が
たっぷり染みついています。

これも、家具が置いてあったときは全く気がつきませんでした。



ご主人が小学生の時に完成した家ですので、
旦那さんも登った柱で、
つい最近までお子さんも登っていた傷だらけの宝物です。
危うく処分してしまうところでした。

これは是が非でも残さなければなりません。
冷静な視線で建物を観察するよう注意しているのですが、
まだまだ勉強中です。
とにかく気がついて良かった。

週末の打ち合わせ時に再利用の方法を提案します。

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

解体前の現場を調べるのも設計者の仕事です。
もう拾い忘れは無いと思います（自信なさげに・・・）

2008・09・03（水）

土壁のエネルギー

「湯本の家」の既存建物解体が始まりました。

左官屋さんだった「おじいちゃん」が作った壁があつという間に剥がされてしまいました。



竹を編んだ壁の下地が集められています。



土壁を分別しなければなりませんので、
このような手順で丁寧に解体していくのですが、
気が遠くなるような職人さんの手仕事を
ゴミに変える作業は良心が痛みます。



断熱改修を検討した建物だったのですが、
建物が大きく歪んでいたことと、
基礎に鉄筋が入っておらず、補修出来ないほど痛んでいたこと
など
保存するにはかなり大袈裟な工事が必要でした。
「おじいちゃん」にそのことを説明して、
建て直しを承諾していただき、設計を開始しようとしたとき
「おじいちゃん」は体調を崩し帰らぬ人となってしまいました。

息子さんから

「設計屋嫌いの頑固親父だったのに珍しく素直に聞いてたんだよね」

なんて話を伺うと、胸の痛みは増すばかり・・・

竹小舞に負けないエネルギーを注いでつくり上げないと叱られますね。

気合いを入れて監理しますよ！

「おじいちゃん」見ていて下さい。

いつもと少し違うエネルギーの話でした。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

土壁は温かいといいますが、

断熱が全くされていませんので実際は寒かったと思います。

職人の温もりが感じられる点は、

ボクがこれまで関わったどの家より「あたたかみ」のある内装です。

部分的にでもいいから残す方法を検討しなかったことを

今更悔やんでいます。

困った・・・

痛みに鈍感になっているなあ～

コミュニケーション感度を磨くと

そこにいない人との対話も可能になるんですよ。いや本当につ
！
「おばあちゃん」は、ずっと痛がっていたんだから（猛省）

2008・09・07（日）

構造打ち合わせ

「湯本の家」の打ち合わせを夜7時から行いました。
お客様の都合ではなくボクの都合です。
(詳しくは裏ブログ参照のこと)

木造住宅の設計は余程凝った設計をしない限り
構造設計事務所に協力してもらうことはなく、
梁の断面などの設計は
通常これまでの経験を基に撓み量の検討をする程度で決定して
います。

もちろん実施される前に現場から木材の加工図が出てきますの
で
こちらが用意した構造図面の問題点や不安が残る部分の
ダブルチェックがなされます。
同じ図面を複数の技術者が作成することで
建物はより安全な者となります。

問題はデザインを担当するボクの図面です。
見た目をきれいにするためにアクロバットな設計をしたりする
と
プレカット屋さんからあれこれ質問攻めに会います。
そこで太刀打ちできないと、無難な構造に軌道修正されますの
で
こちらも理論武装が必要です。

今回はやや押し切られた格好でして
柱が1ヶ所追加になってしまいました。
そのことを説明する打ち合わせでしたので少々居心地が悪い
です。
敗北感・・・

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

お客様はブログで私の行動を把握していましたので
仙台土産を持って行きました（笑）

2008・09・10（水）

解体中です

「湯本の家」は事務所の近くですので
出かけた帰りなど用もないのに寄っています。

今日は重機を使った解体をしていました。



地鎮祭を来週行います。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

解体前に発見しました。



昭和47年12月に行われた上棟式の飾りです。

(魔除けの幣串で良かったかな?)

当時は職人さんが自分で描いたとのこと。

五式の旗を立てて投げ餅、投げ銭する上棟式を全く見なくなりました。

子どもの頃は近所でもよく見かけたんですけどね。

2008・09・16（火）

解体完了・・・何もなくなった・・・

「湯本の家」の解体工事がもうすぐ終わります。



既存建物に付いていた鉄骨の梁と外階段が無造作に放置されています。



設計図面の敷地の形状は

公図をベースにして私の測量値で微調整したものです。
既存建物が残っていると食い違いが発生したりすることも・
・

今回は問題ないレベルでした（ヨック!ヨック!）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

この後、建物の大きさを敷地に描いてみます。
設計通りに納まるか緊張します！！

地縄

「湯本の家」は週末に地鎮祭を行う予定です。
その前に建物の配置を簡単に地面に落としてみます。
(何かトンでもない間違いをしてるといけないですのでねっ♪)



もちろん設計通りに配置できましたよ～（ホッ♪）

細い路地の突き当たりに建つ家ですので、
路地からの眺めに配慮して設計しました。
建物の位置決めはいつも以上に緊張します。

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

地鎮祭の準備も進んでいるのですが、

台風ですね・・・

ソロ、ソロ、ソロ、ソロ、ソロ、ソロ、ソロ、ソロ、ソロ（皆さんご一緒にどうぞ！）

2008・09・20（土）

台風情報を何度も見たよ！

「湯本の家」の地鎮祭を延期するべきか悩みましたが、
ここに来て速度が増しています。

おまけに、いい具合に逸れて下さっています。

明日は台風一過！青空の下で地鎮祭を行うことができそう♪

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

奉献酒の準備もOK！

図面が遅れていますので、ショートバージョンで終了！！

2008・09・21（日）

地鎮祭

建物の解体も無事終了し、
地縄も問題なく確認終了！

そしていよいよ工事が始まります。



さてさて、どんな建物となるのでしょうか。
お楽しみに！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

台風は逸れたのですが、
何故か天気予報は「曇りのち雨」

テントの準備をしましたが、雨が降る前に無事終了！
お天道様！この調子でよろしくお願いします（笑）

2008・10・01（水）

想定通りの地盤

「湯本の家」の工事が始まりました。

以前建っていた建物は基礎が大きく歪んでいて、
改修工事を検討したのですが
ボクの技術では予算内での対応が困難と判断し建替えとなりました。

その後地盤を調査した結果、敷地の北側半分が「盛土」でして、
かなりフカフカな状態であることが判明！
敷地の近くには川があり、古い地盤面はそちらに傾いていることが
想定される結果となっていました。

35年前の強引な「盛土」と「擁壁」の工事に対して、
地盤改良なども検討したのですが、
杭屋さんは建物が乗る部分全体を改良する方法を提案してきて、
軟弱な部分だけの補強方法をしたがりません。
木造住宅は軽量ですし、ベタ基礎の構造を検討することを話しても
受け入れていただけませんでした。

そんな訳で、今回は地面を大きく掘削し、

巨大なコンクリート基礎をつくってしまうことにしました。
北側が福島県の崖地条例に抵触する擁壁でしたので、
そちらの対策にもなっていて、地盤改良工事よりかなり経済的
です。



茶色い盛土の地層が、手前に来るほど深くなっています。
かなりフカフカの軟弱な層です。
建物が北側に傾き、基礎に大きな亀裂が入っていた事も納得で
きます。

しかし、大袈裟な基礎工事ですね・・・

遠い遠い未来に建物を解体するときに大騒ぎしそうです・・・
(汗)

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

今更「たら」とか「れば」とか言っても仕方がないのですが、
この敷地を造成するときに、きちんとした擁壁工事をしてい
れば

このような大袈裟な基礎工事は不要でした。

もしかすると古い建物も改修可能だったかも知れませんね・・・
.

地盤や基礎をしっかりつくることは、
建物を長持ちされるためのスタートラインです。
あらためて肝に銘じます。

2008・10・03（金）

崖地条例対策

「巨大なコンクリートの塊をつくってしまいました。



いやいや、でっかい！

建物の荷重を擁壁に伝わらせないための基礎です。

地盤改良杭と考え方は同じです。

ちなみに敷地の南側はえらく浅いところに岩盤がありました。

(これも想定の範囲内です)



色違いの部分がメチャメチャ堅い部分で、
重機も歯が立ちません (←文字通り)

もちろんこちら側は地盤改良の必要無しです。
明日には根切りが終了します。

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

地盤改良杭の営業マンは、
南側の岩盤にも杭を打たないと建物が傾く可能性があるの一点
張りで
交渉決裂でした。

ここに計画通りの杭を打たせてみれば良かったかしら♪

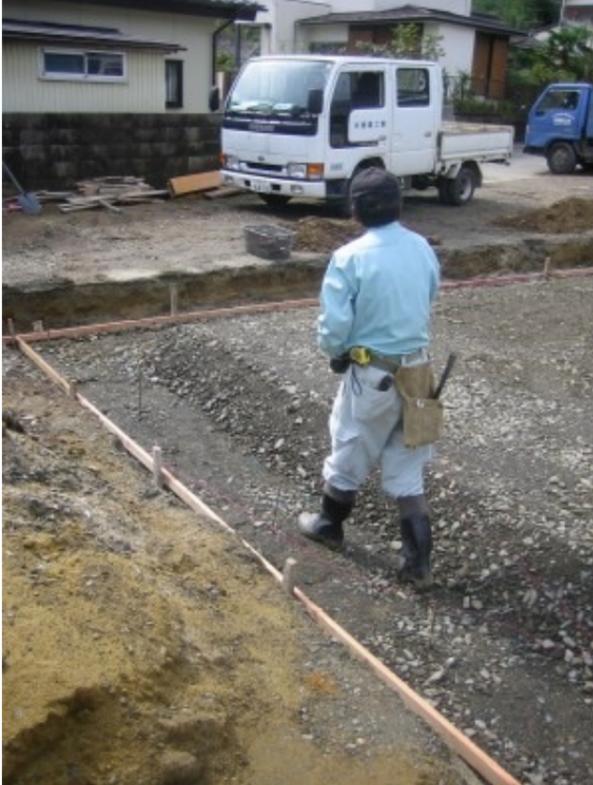
↑↑↑

(ヤバイ、本性がばれてしまう！)

2008・10・07（火）

設備ピット

「湯本の家」は捨コンの型枠工事をしています。



ラップル基礎の天端が定規になりますので、捨てコンに墨を打ち「やり方」を省略します（とのこと）この辺りの微妙な工程は工事屋さんにお任せする部分が多くあります。

と言いつつ、かなり面倒な事を現場に要求したり、

例えば、

砕石工事が終わると鉄筋、型枠、コンクリート工事と進みますので、

通常ですと設備工事屋さんは鉄筋工事の合間を縫って設備配管を埋めたりします。

つまり、

せっかくキレイに転圧した砕石を設備工事屋さんが掘り返すのです。

この工程は見ていて気持ちいい物ではありませんし、基礎コンクリートの下に設備配管を埋めてしまうのも面白くありません。

そんなわけで、ボクの現場では設備ピットを設けることにしています。

床下の設備配管をこのピット部分から取り出すようにすることで

コンクリート工事の前の設備工事屋さんの作業は横に抜くスリーブの設置だけです。

将来の設備機器のリフォームなどにも容易に対応できる工法ですし、

現場は合理化されるはずなのですが、嫌がられることも多々あります。

ですので、

基礎の図面にはそれらの内容がしっかりと盛り込まれてあり

ます。



↑設備ピット部分の配筋です。

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

屋根、外壁の色決めをしなければなりません・・・

まだ何もイメージできていません・・・焦ってきました・・・

2008・10・09（木）

基礎工事開始

「湯本の家」は捨てコンが終わり基礎工事が始まります。



基礎断熱用の断熱材が現場に届きました。

基礎屋さんが捨てコンに墨を打っています。



フムフム

色々描いてある♪

今日は碎石と防湿シートの状況を確認してお終い。

(図面が終わらないので短縮バージョン)

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

お客様は外壁の色について悩んでいるようです。

今週末はお客様と市内の住宅地をドライブしながら、
外壁の色について打ち合せをしようと考えています。

2008・10・10（金）

断熱型枠

「湯本の家」の現場は事務所から片道5分の位置にありますので

チョットの時間を見つけては顔を出しています。

今日は断熱型枠がキレイに立ち並んでいました。



床下空間が将来のメンテナンススペースになりますので通常地面から1階の床面まで60cm確保します。

更に、

「基礎断熱+床下暖房」とする場合は断熱材を凍結深度以上埋めます。

いわきは凍結しない地域ですが、通常30cm埋めることにしています。

この二つを合わせると、基礎の外側の高さが90cmになります。

厳密に書くと土台の寸法分小さく出来ませんが、
敢てそのままにしておきます。

なぜなら、
鉄筋工事やコンクリート工事で断熱材がかなり傷むからです。
断熱材の切断は基礎が完成してからがお勧めです♪

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

断熱材には種類があります。
現場に行ったらそちらも確認しなければならないのですが、
何故か全て裏向きになっていました。
チョット不安になり、現場をうろうろしていたら発見！



ちゃんと「B-3」という設計通りの仕様でした。

2008・10・11（土）

配筋検査

「湯本の家」の基礎工事は順調です。

今日は配筋検査をしてきました。



さて、

アンカーボルトの設置方法で監督さんと打ち合せをしました
が、

なかなか良い解決方法が見当たりません。

コンクリート打設後にアンカーボルトを差し込む「田植差し」を

しないで欲しいと言ったのですが、

断熱型枠が基礎天端より高いため

アンカーボルト固定用クリップが使えないとのこと、

鉄筋に固定した時はコンクリート打設時に動いてしまい失敗したので

今回は「田植差し」にさせて欲しいとのこと・・・

設置位置を型枠にマークすることを条件に渋々承諾しました。

次回までに別の解決方法を検討します。

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

「常陸の家」の基礎断熱はグラスウール後張り工法ですので、アンカーボルトの固定は容易です。

やはりこちらの工法が理想に近いような気がしてきました。

価格面ではまだまだですけどね・・・

2008・10・12（日）

パワーバランス

「湯本の家」のお客様と外壁の色決めをしました。
色決めと言いましても、屋根とサッシの色決めです。
これだけを先行して決めるのも変ですので、
外壁のイメージだけでも決めてしまおうとなったというわけっ
！

というわけで、
お客様家族全員と市内の住宅地をドライブしてきました。
娘さんは腰壁付のツートン柄を、
お父さんは土壁色を、お兄ちゃんは何故か純和風を希望し
ます。
そして奥様が一言、
「模型の外観を見たときからモノトーンと決めていました」
なるほど、
自分の好みではなく建物の外観に合った色合いを提案してきま
したか！
この意見には誰も反対意見を言うことが出来ず一瞬で確定
(笑)

それでも、
ベースになる色とポイントになる色のバランスなど、
住宅地をグルグル廻りながらあれこれ相談しましたので
2時間以上の怪しいご一行様となってしまいました。
怪しいワゴン車がウロウロしていると通報されるのではないか

と

ハラハラしましたが、大きなトラブルもなく無事終了！

屋根とサッシの色もすんなり決まってホッとしています。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

現場はベースのコンクリートまで進んでいます。



家族でコンクリート打設の様子を見学していたとのこと。
どうぞ思う存分楽しんで下さい！

2008・10・15（水）

アンカーボルト

「湯本の家」の現場に行ってきました。



基礎の立上がり部分までコンクリート打設が終了していて
ビニールで養生されてありました。

表面が固まっていたので養生を外してみると、
なんとということですよ～っ！



アンカーボルトが基礎の芯に来るよう
コンパネを加工した留め具で固定されているではありませんか。

さらに、断熱材で固定が難しかった基礎外周部では
留め具を型枠にビス止めし片持ちで留っているのです。



アンカーボルトの長さも土台を乗せてピッタリの寸法ですので、
長すぎて根太レス合板にぶつかったり、
短すぎて土台を大きく削り込む心配もありません。

BGM 「TAKUMI」

基礎屋さんありがとう！

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

動画探すの疲れたっす。

2008・10・16（木）

脱型開始

「湯本の家」はコンクリート型枠の撤去作業が始まりました。
位置指定道路の突き当たりにある敷地のため
通常のコンクリートミキサー車の進入が困難で、
小型ミキサー車での作業でした。
配車の予約が付きにくらしく
監督さんはコンクリート打設の予定日を決めるのに緊張してま
した(笑)

苦勞してつくった基礎が完成です。



アンカーボルトの並びをチェックしてみます。



泣けてきた・・・

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

いい基礎屋さんです。感謝感謝♪

2008・10・17（金）

何度見てもいいね

「湯本の家」の現場に行ってきました。

基礎の型枠が完全に外されています。

基礎断熱のスタイロフォームの仕様がはっきりと分かりますね
(合格)



長めにセットされてあった断熱材の余分なところが切り取られ

キレイな断面を見せています。



アンカーボルトの並びの良さに涙目ですう～

さて、

現場では基礎屋さんが作業中でした。

「基礎巾が小さいのでアンカーボルトを施工するのに苦労したよ！」

なるほど、基礎巾が大きい方が作業手間が浮くのね。

コンクリートのかぶり厚さがギリギリですので

基礎巾を大きくするべきか悩んでいた所でした。
基礎屋さんからのアドバイスが聞けてよかったです。

次はもっといい基礎を設計しますよ♪

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

基礎断熱の弱点であるシロアリ対策について
薬品メーカーさんの話を聞きました。
メーカーさんは基礎断熱とする理由を知らずし、
設計屋は殺虫剤と殺人ガスの違いを知らずし。

虫にしか効かない神経ガスで、人体には全く影響がない

そんなこと言われても、何となく・・・ねえ・・・（←頭堅い人です）

2008・10・23（木）

いよいよ始まります！

「湯本の家」に材料が届きました。



写真は土台だけです。

その他の材料は敷地の隅で出番を待っています。

さて、

基礎断熱の建物に床下暖房を計画していますので
床下に変な隙間があるとエネルギーがだらだら漏れてしま
います。

コンクリートでできた基礎と木材である土台、
これら全く性質が違うものを隙間無く取り付けるにはコツがあ
ります。



ゴム製の基礎パッキンを土台の下に敷き、
アンカーボルトで締め付けていきます。
アンカーボルトの間隔が広いとパッキンの反発力で
土台が持ち上がってしまうことがありますので
1 mに1本程度入れるようにしています。

基礎パッキンは建物内部の土台下には要らないのですが、
土台天端が揃いにくいので、全ての基礎に敷いてしまいます。

そうそう、



基礎のコーナー部分はこのように、
片側のゴムを外して重ねてみたり・・・

あれ？

シートだけ伸ばす理由はなんだ？

そうそう、

今回から土台部分の先貼りシートを省略する工法を採用しています。

土台の上に厚い構造用合板を乗せますので、
合板と土台の間には隙間が無いと考えることができ、
防湿シートを合板部分から貼り始めても問題ないと
断熱工事業者さんから教えていただいたのです。

防湿シートを土台を巻き込むように立ち上げる場合だと
写真のように若干シートを長くしておく必要があります。
大工さんはそのときの納まりで敷いてしまったのですね。

ああ～

もちろん、性能には全く影響がありませんのでご安心を！

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

さて

ちょっと現場に行つて来ます（←現場好き♪）

2008・10・24（金）

ラッピング

久しぶりの大雨でした。

「小名浜の家」は足場解体直前ですので問題ないのですが、
「湯本の家」は土台を敷いたところ・・・

雨で変なシミが出来ないといいなあ・・・

なんて思っていたら、

前日にブルーシートでラッピングされていました♪



まるでクリストの作品のようです（笑）写真は前日撮影しました。

監督にお礼の電話をすると、

「シートの水抜き穴をカッターで入れたけど上手く流れておらず

雨の中シートを捲れた部分を直してきました！」とのこと
キレイな現場を維持するため、たくさんの方が努力してい

ます。

土台の据え付けが終了してましたので
アンカーボルトの状況を確認しました。



ボルトの位置、長さどちらもバッチリ！
インパクトレンチでねじ込んでいくタイプのナットですが、
今回の物は割とスムーズに納まったようです。

以前使った物は上手くめり込まず、全て座彫りした（思い出し
涙）

技術は進歩していますね！

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

新しいデジカメ快調！快調！

2008・10・27（月）

ドキドキしてきた♪

「湯本の家」は1階まで骨組みができました。

今日中に2階までできあがりそうです。

スケッチして、図面を描いて、模型もつくって、あれこれ悩んで作り込んでいくのですが、この瞬間は毎回緊張します。



夕方もう一度現場に行ってきます。

おいおい

図面は進んでいるのか？（←右上辺りにいる白豊田の声）

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

ブログの更新に写真が必要なんだから仕方がない（←左上の黒
豊田）

頭の上が妙に騒がしい・・・

2008・10・28（火）

祝上等！

「湯本の家」の骨組が完成しました。



細い路地の奥に建つ家ですので、
路地の軸線に合わせて屋根の一部を高くしました。家の顔
です。

ここには夏の風抜き窓が付きます。

屋根の上にもう一つ小さい屋根が載っていて

天井付近に集まった熱気を排出する窓、

ほら古い民家とかでよく見かけるでしょ？

あれをやってみたかったのよ♪

この窓を開けておくと気持ちよく空気が動くという計画です。

(夏の夜専用換気扇を設置するべきか・・・悩んでいます)

現場では屋根の垂木を乗せる作業が始まりました。

夏の日射を調整するためにもちゃんと軒を出さなければなりません。

この作業まで進むと建物の全体の姿が見えてきます。

まだまだ緊張の日々が続きます。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

大工さんに「ブログ見てるよ〜！」と言われました。

元請けさんに指名して来ていただいている職人さんです。

すごい真面目な方だと思っていましたが、

ブログまでチェックしてるとは・・・変な汗が出てきたよ
(笑)

でも、

図面からだけでは読み取れない設計屋のこだわりがあります。

このブログで少しでも伝わると嬉しいですね。

こんな人が作業してる家です。きっと良い仕上がりになりますよ！

2008・10・30（木）

軒の出

「湯本の家」は屋根の垂木が乗りはじめました。



屋根に20cmの断熱材を充填するため
屋根の下地となる垂木の寸法は高さ23cmの材料を使
います。

でも、このまま軒先までこの材料を伸ばしては非常に野暮ったい！

そんな理由から、大工さんには苦勞をかけてしまうのですが垂木の背を軒先部分で小さくなるよう切り落としてあります。

最近、軒の無い建物が流行っているようです。

屋根面積が小さくなりますので、

下地、防水、樋など屋根に関わる全ての部分でコスト削減が可能です。

だけど、

四季があり、雨が多い気象条件の中で必要とされ

今日まで作り続けてきた軒下空間を

短期的な流行や経済的な理由で簡単に無くしてしまうのってどうよ？

キレイな軒下空間をつくりたいと考えています。

問題はその空間を上手に活用する外構計画だったりしますが、そちらにはなかなか予算が回らないお客様も多いようで・・・

まあ、

急いでつくる必要もありません。

軒下空間と庭は少しずつ作り込んでいけばいいんですよ！

↓面白かったらホッ！↓

住まいブログ

追記：

写真の不揃いな垂木ですが

この後長さを揃えますので、ご安心を！

2008・10・31（金）

例によって「ヒラヒラ」しています。

「湯本の家」は大きな垂木を使った屋根断熱工法採用していますので、

断熱材へ湿気が進入するのを防ぐ防湿層は屋根のすぐ下に設けられます。

おまけに屋根の勾配がそのまま室内の仕上げ面になる場合、

垂木以外の構造材が室内に現れてきますので

防湿シートを母屋や梁にテープで止めることもできません！

そうならないため、

建て方の時点で先に貼っておく「先貼り工法」となるのです。



これで、防湿層がきちんと連続します。

建物の耐久性や暖房効率にも影響する部分ですので妥協しません！

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

慣れた大工さんに来ていただいていますので、
現場に行っても特に指摘する部分も見当たらず
挨拶だけしてかえって来ます。ちょっと寂しい・・・（←アホ
?）

2008・11・01（土）

全体が見えた！

「湯本の家」は屋根に下地となる合板が敷かれ、
いよいよ全体像が見えてきました。



設計のイメージに近い出来映えでホッとしています。

日曜日の午後に、お客様と設備の打ち合わせがありますが、一安心！

今日はお昼休みにまったりモードで更新中♪

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

図面の仕事が追い込みですので、短縮バージョンです。

2008・11・03（月）

目標「大きな設備用架台」

「湯本の家」で設備の打ち合せをしてきました。

お客様は

設計した灯油の給湯ボイラーはランニングコストが心配だと言います。

聞くと、エコキュートによるオール電化へ仕様を変更したい様子。

しかし、ここに来て電気料金の値上げ！

さらに、ガソリンなどの燃料費がどんどん安くなるといったねじれ現象

エネルギー価格は先が見えないもので、どの設備を採用してもある程度はギャンブルになってしまいます。

その辺りをていねいに説明しました（←軽く脅してみたり）

おかげさまで、当初設計のままで実施することになりました。

エコキュートは初期投資金額が高いですので

電気の先払いシステムだと言えます（←あるお客様の受け売り！）

その当たりの説明が足りなかったため、

九州電力は公正取引委員会から叱られたとのこと。

こちらの尻ぬぐいに近い説明を私は何度もしています。

とは言っても、灯油価格は5年前の倍以上しています。

少しでも消費量を少なくしたいところですよね。
断熱性能を大幅に向上すれば暖房費が節約できますが、
この費用はエコキュートどころではありません！
そうすると「給湯」です。

今回は太陽熱温水器の設置を提案してきました。
参考にしたのはこちらのサイト。
立地条件と家族の人数を入力するだけで、
年間どの程度の省エネが可能かを計算してくれるサイトです。
結構楽しいもので、いろいろ試しちゃいました（笑）



こちらが湯本の家の結果です。（クリックで拡大されます）

計算結果では、
6人家族の場合、給湯費は現在の半分以下になります。
2人だと10分の1にもなります。

でも、
屋根の上に太陽熱温水器を載せるのはちょっと見た目が・・・
おまけに屋根が傷みそうで心配ですし・・・
だいたい押し売りまがいの商法が問題になったメーカーのおかげで

設備自体のイメージが悪すぎます！！

外観は昭和臭がプンプンしますし、いつデザインされたのこれ？

それでは目立たない位置に設置しようかと検討するのですが、建物の影が落ちにくい都合がいいところなんて転がっていません！

そして気が付いた！

影が落ちない高さまで大きな架台をつくってしまう作戦（笑）

もちろんその下には自動車を駐めることもできます。

一部に外物置なんかがあると更に便利～～♪

太陽熱給湯器は既存の給湯ボイラーへの接続が容易ですので今回の工事で慌てて設置しなくてもいいのもウレシイところ
です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

世間ではカーポートと呼ぶものによく似ていますが、

あくまでも巨大な設備架台として計画します。

架台までの費用を15年程度で太陽様が回収してくれる作戦なのだ！

これは「常陸の家」でも使えそうですね

そちら向けの資料も作成してみたり・・・（←腹黒）

2008・11・05（水）

ショールームをこじ開ける！

「湯本の家」のお客様と郡山のショールームまで行ってきました。

水曜日ですのでどこも休みなのですが、
営業担当者に無理言って開けていただきました（ゴメンナサイ）

だって、
お客様の都合がいい日はこの日しか無いんですもの・・・

休日のショールームは床のワックス掛けや空調機のメンテナンスなど

それはそれで忙しそうです。
床掃除を部分的に後回しにさせていただいて、
玄関ドアの色決めですが、奥様の一声で決定！

その後、
浴室、トイレ、洗面所、キッチンと色や仕様を決めていくのですが、
旦那様の意見はほとんど採用されることなく、奥様の鶴の一声！

そして決断が早い！
2時間で全ての設備の仕様を決めて帰ってきました。
こんなに悩まないお客様は初めてです（笑）

私の注文は、

魔法瓶浴槽は要らない（残り湯が冷めるのも暖房ですので）

浴室乾燥機も要らない（冬は建物全体が乾燥気味ですので）

同時給排気型換気扇も不要（普通のシロッコファンで問題ない）

等々、

コストを下げる方向で提案するのですが、

お客様の要望は徐々にエスカレートし、

見積もりの結果によっては仕様の見直しが必要になるかも・

・

ショールームには魔物が住んでいます・・・

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

2つのショールームをハシゴしたのですが、

どちらも裏口から案内されて、貸し切り状態でした。

特別待遇はなんだか嬉しいですね（笑）

2008・11・06（木）

釘

「湯本の家」は外壁の構造用合板工事が始まりました。

構造用合板のポイントは釘です。

柱の間に斜めに設ける「筋交い」は地震時に頑張ってくれる部分ですが、断熱材を隙間無く充填させるには少々厄介な部分になってしまい、

断熱性能面でも不利になってしまうことが多いです。

そんなわけで

建物の外側に構造用合板を打ち付けて筋交いの代わりとします。

ところがこの合板は止め方が面倒くさい！

釘の太さ長さ間隔が細かく規定されているのに、これに対応した釘打ち機を持っていない大工さんがいたりすると

勝手に違う釘を使ってしまったり・・・

合板が地震時に頑張ってくれることを理解しないで

「図面にあるモノを張付けておけばいいんでしょ？」といった対応では

いい建物になりません。

合板に規定の釘を機械で打ち込んでいくと

釘のめり込み深さも問題になります。

今日の粗探し仕事は釘の状況確認がメインです。



今回はかなり慎重に作業していただいています。
酷いめり込みはほとんどありませんでした！

↓面白かったらホッちゃん↓

住まいブログ

追記：

室内には先貼りシートがヒラヒラしています。



こちらの詳細は現場がもう少し進んでから書きますね。

2008・11・07（金）

床下の設備工事開始！

「湯本の家」は設備工事が始まりました。

が、

午前中の早い時間にお邪魔したため、

まだ何も始まっていませんでした。

取り合えず「床下暖房用温水パネル」をパシリッ！



この黒いパイプがいい仕事をするんですよ（笑）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

夕方再度現場に行く予定でしたが、

インフルエンザの予防接種が意外に込んでいて挫折・・・

身体が資本ですので、健康管理優先です。

2008・11・08（土）

床下設備工事

「湯本の家」では床下の設備とサッシ取付けが同時に進んでいます。

現場はこんな感じです。



以前は温水パネルを基礎のコンクリート面に固定していたのですが、

床のガラリを設置すると微妙にずれていたり・・・

それを最後に調整する作業を床下で行うのはかなり厄介です。

そんな理由から

最近では温水パネルの下に木製の下駄を履かせる方法に進化！

この工法ですと床ガラリからでも位置の調整が可能です。

おまけに、

放熱機が床面に近づきますので、

ガラリに手をかざすと以前より暖かさが増したようです。

放熱量は同じなのですが、暖かい空気の上昇速度が違うのでしょう。

建物全体に蓄熱させる暖房方式ですので

ガラリ部分の暖かさはそれほど重要ではないと考えていましたが、

お客様は暖房されていることを確認できて嬉しそうです。

パネルを床に近づけることで

床下部分への蓄熱料が大幅に減少するとも考えにくいですので

これはこれで良いことにしています。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

パネルまでの配管ですが、

床に這わせるか床組みから吊るべきかまだ悩んでいます。
床下をお掃除ロボットに掃除していただくのが夢ですので、
今回は吊っていますが、
地面への蓄熱量は這わせた方が多いでしょうね・・・（悩）

2008・11・10（月）

設備配管スペース

「湯本の家」の設備配管です。



壁の中に通すこともできるのですが、断熱材が入りませんので室内側に通します。設備配管には構造体ほどの寿命を期待できませんので

長く住み続けることを考えると、将来メンテナンスが必要になります。

その時に向けた備えですね。

昔から言いますよね「備えあれば嬉しいなっ♪」（←オイ）

長く住むこととは、直し続けることだと思います。

完成させないで作り続ける暮らしも楽しそうですね。

家と関わった暮らしを考えると長く住み続けることになりそうです。

設計屋はそれに備えてあれこれ考えていますので、

どうか住むことを楽しんで下さい。

↓面白かったらホィッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

通気管を付けていただいたのですが、

洗濯機置き場の前の棚がだいぶ小さくなってしまった・・・

ちょっとだけ予想外（←ジューク！）

2008・11・12（水）

屋根できた！

「湯本の家」は順調に進んでいます。

12月上旬に「省エネ住宅見学会」という催しがありまして

「湯本の家」が見学リートに選ばれました。

断熱工事を見学していただく予定です。

（工事が順調に進みますように・・・）

さて、

現場は屋根まで進みました。



横に長い敷地に細長い建物を計画しましたので、
屋根はシンプルに片流れ♪
棟換気が要らないのでちょっとだけ安いよね。

建物の中では設備工事と窓の取付けが行われています。



設備工事が終わったところはキレイに養生して次に進む！



家づくりのウンチクは特に無し（笑）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

現場がキレイだと嬉しいですね。

2008・11・14（金）

ロフトの窓

「湯本の家」には小屋裏収納があります。
居室ではありませんが夏の通風用に窓を設けました。
そこからの眺めが想像以上に良いのよ！



この窓が、



この眺め

ハンゴで登って、さらに這っていくような場所にある窓ですが、

気持ちいい～～♪

この視点は設計時には確認が難しい部分です。

思いがけないロケーションに出会えると建築の神様に唯々感謝
(笑)

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

リビングに隣接する畳敷きの食堂には掘コタツが付きます。

熱源は床下放熱器です。



上手に温まるのでしょうか・・・いやっ大丈夫ですって・・・

ここは電気でも良かったかな？内緒ですが、まだ悩んでいます。

2008・11・15（土）

ちょっとだけ到着

「湯本の家」に断熱材が届きました。

チョットだけです。



どこか先行して使うのかな・・・

浴室かな？

ユニットバスの陰に隠れてしまう壁の断熱工事は、先に終わらせておかなければなりませんので、その分だけ取り寄せたのでしょう。

もちろん、折角運搬するのですから、1袋だけでもありませんよね。

そんな理由から、チョットだけ到着したのだと思います。

いよいよ断熱工事が始まります。

現場を眺めるときも断熱の納まりを考えたりと見方が違ってきます。

大工さんはもっと緊張しているでしょうけどね。

うるさい設計屋ですから！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

この日は大きいカメラを持って行きました。

12月に行われる現場見学会の

案内用の写真を主催者から要求されているので、

広角レンズで撮影したかったのよ♪

パシリッ♪



2008・11・16（日）

外壁の色・・・思案中

「湯本の家」は外壁のサンプルを取り寄せてあれこれ検討中です。



「こちらをベースにしまして、ポイントでこの色を使ってはいかが？」

そんな程度のボクの見解を伝えると、
日曜日の午後に家族総出の緊急会議開始です！

難しい話と、様々な駆け引きの言葉が交わされていますので、
投票権を持たないチビちゃんは、ボクと建物探検に出発！

2階に上がる梯子を動かしたら
「工事の人に叱られるよお～」と睨まれてしまった。

あのお～
ボクは工事の人なんですけど・・・

そうこうしているうちに、無事会議終了（例によって決断が早い）

どうやら今回も奥様の意見が強かったようです（←失礼）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

朝まで降っていた雨がちょうど止んでくれて助かりました。



ほんの少しですが太陽が顔を出してくれて
お天道様に感謝感謝です。
外壁のサンプルは太陽の下で見ないといけませんからね。

2008・11・18（火）

外壁防水下地

「湯本の家」は外壁の防水下地工事が始まりました。



外壁通気工法を採用していますので、
「通気層部分には必ず水が入るものっ！」と考えています。
下地の防水紙はもしものときの二次防水層となりますので、

下から順番にちゃんと重ねて貼っていきます。

窓の廻りには両面テープをはりしっかり擦り込んで馴染ませます。

これを全ての外壁に行います。これもまた手間のかかる仕事です。

↓面白かったらホィ↓

[住まいブログ](#)

追記：

ユニットバス部分のみ断熱工事が先行して進められてありました。

キレイな仕上がりです。



でもさ、

換気扇のスリーブは先に設置するべきではないかな？

しつこく検査しますので、よろしく願いいたします（笑）←

ワッテイイ

2008・11・21（金）

浴室工事

「湯本の家」では浴室の取付けが行われています。

ボクがこの業界に入った頃はタイル貼りの浴室を設計していました。

タイルの割り付けを考えて、窓の寸法を調整したり

浴槽の大きさをカタログから選んでみたり

手書きでしたので納まりを検討して図面に落とし込むまでかなり悩んだのを覚えています（超初心者でしたかからね）

それが最近

メーカーのHPから合う寸法のデータをダウンロードして図面に貼り付ければ終了です。

手摺りや鏡などの細かなオプションは

お客様とショールームに行かないと決まりませんので

契約時には「中級グレードの設備で取り敢えずお願いします」などで

済ませておいてもほとんど問題ありません。

楽になったのかな？ それとも楽しんでいるのかな？

メーカーのカタログなどにある

透明感たっぷりで脱衣室とつながる浴室などは

気持ちよさそうですが掃除が大変そうだとか所帯染みた理由から

設計したことがありません。

ガラスをいつも透明にしておく労力は想像の限界を超えるタイ

プです。

そして今回も極々一般的なユニットバスです。



もちろん断熱工事部分が隠れてしまいますので検査します。

浴室を支えるブラケットを壁に付ける場合は
防湿シートに一部穴を開けなければなりません。

その処理を確認して、合格！



こんな納まりです。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

浴室は魔法瓶浴槽が標準仕様のものなのに

敢えて浴槽の断熱材を外していただきました。

家族の生活のリズムがほぼ同じですので

入浴タイムに大きなズレがありません。

そんな家庭でしたら、お湯が冷める心配がありませんので

魔法瓶浴槽は過剰設備となります。

もちろん基礎断熱で床下暖房となっているからできる荒技です。

お風呂のお湯が冷めるのは床下を温めているからです。

「残り湯暖房の家」の操作方法は

毎日決まった時間にお風呂に入るだけです。簡単ですね♪

床下を温める必要がない夏期はすぐに排水した方がいいですね。

形に機能を付け加える

「湯本の家」には塔があります。



この塔は建物のシンボルであり、

子どもたちの秘密の部屋でもあります。
夏の換気装置にもなっています。

上手く機能することを本気で祈っています（笑+汗）

さて、外側が固まってきましたので
内部も徐々に始まってきました。



以前の家で30年以上建物を支えていた床柱を再利用します。
お客様の了解も得ましたので、新しい家に再就職です（笑）
白木の新しい和室には暫く馴染まないでしょうが、
どこに置いても馴染がいいのが古い物の特性ですので、
すぐ違和感がなくなると思います・・・再び祈る・・・

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

外壁工事を楽しみにしていたのに

監督さんから塗装工事を先行すると言われてしまいました。

ちょっと残念です。

2008・11・23（日）

屋根通気工法

「湯本の家」は外壁の下地がほぼ完成しました。

壁の中の断熱材に水蒸気が進入すると、
壁内結露の原因となり、
条件が悪いと建物の柱や土台を腐らせてしまいます。
水蒸気の粒は非常に小さいので、
進入を完璧に防ぐことは現実的ではありません。

それなら、
壁内にある水蒸気を建物の外に逃がしやすくしましょう！

そうして始まったのが外壁通気工法です。
同じ理由から屋根の通気も考えてあります。
屋根は夏の昼間にかなり高温になりますから
その熱が室内に届く前に外に吐き出さなければなりません。
断熱性能を確保しつつ風通しを計画しますので、壁より面倒な部分です。



屋根通気の入り口部分です。

「通気量は一番狭い部分で決まる」との教えを忠実に守っていますので

入り口の寸法は天井断熱の通気槽と同じにします。

このままですと蜂が巣を作る恐れがありますので、

入り口の中には防虫網が設置されてあります。



外壁を仕上げたときに垂木部分の納まりがキレイじゃないので、

見切り材を入れて調整します。

これが垂木の下面に付くとかなりいいですよ！

ちなみに、室内側



黒く見えるのが通気層の防虫網です。

まだ設置されてありませんが、

段ボール製の通気層と断熱材が充填されます。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

外壁は12月上旬に設置作業開始！ワクワクしてきました。

現場でお客様とスイッチ、コンセントの位置について

一部屋ずつ確認しました。

2008・11・26（水）

外壁通気層

「湯本の家」は外壁の下地をつくっています。



胴縁を縦に設けることで、
外装材の裏側を空気が自由に動けるようになります。

窓の廻りや外装材のジョイント部分は時間とともに劣化して
小さな隙間をつくってしまいます、そして招かれざる雨水を誘
い

雨漏りの原因となります。

通気層の下に二次防水層をきちんと設けるとで
漏水事故はかなりの確率で防ぐことができます。

また、

冬に壁の中で結露が発生しても、

通気層の空気が動くことで壁内の乾燥が早まります。

それから、

夏の直射日光で壁表面が焼かれても
通気層の空気がその熱を上へ上へと押し上げますので
部屋の温度が上がりにくく、エアコン利用時間が減ります。

さらに、
数十年後に外装材が傷んできた場合には、
外装材のみをやり直すことも容易です。

とまあ、
外壁通気層は合理的な工法なんです。

ところで、写真の下の方にある黒い棒はなんだか分かりますか
？



防虫網です。

この通気層という隙間は昆虫にとってかなり快適なようで、
何かが巣をつくり、
壁から昆虫が大量発生などのホラー映画のような事例も聞きます。

蜂が巣をつくると大騒ぎですので、
虫の進入を防ぐところまで考えておくことも忘れません。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

きめ細かな配慮は、たいてい失敗から学んでいます。
現場担当者より先回りして考えているつもりなのですが、
なかなか納得できる完成度には辿り着けないのが楽しかったり

♪

(致命的なミスはしていませんよ、勿論)

2008・11・27（木）

始まりました。

「湯本の家」では、断熱工事が始まりました。

特別なことは何もしません。

ただただ、ていねいに詰めていくだけです。





慣れた大工さんが詰めて下さっていますので
キレイに見えれば問題なしです（楽になりました）

一番下に手を入れて大きな隙間がないか確かめて、
大きなシワや、押し込んで凹んだ部分などを
ポンポン叩いてチョットだけ性能アップ補助行為を試してみたり

♪

表面が平滑なのが理想ですが、
それぞれ巾が微妙に違うところの入れていきますので
うまくいかない部分も当然出てきます。

いろいろ見てきましたが、
全体で見てキレイな現場は性能がいいですね。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

あれ？またスリーブは先送りですか？

手間が増えると思うのですが・・・

電気屋さんにまとめてお願いするのかな？

2008・12・01（月）

先貼りシートは先読みシート

「湯本の家」の断熱工事は8割ほど終了です。
先日天井面でヒラヒラしていたビニールですが、



ようやくあるべき姿に落ち着きました。



梁に掛けられていたシートの両端を持ち上げて、
断熱材を詰めた天井面に貼り付けるだけです。

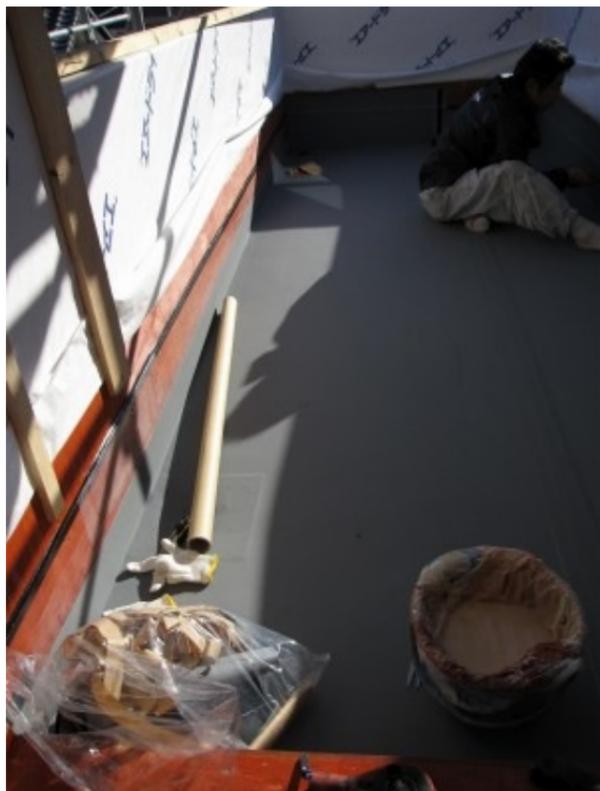
湿気が断熱材に進入しないよういろいろ工夫していますが省略
！

シートを簡単に載せたけですので、
シートと梁の間に隙間があります。
ここは貴重な配線スペースです。



現場は3手先を読まなければなりません、
「先貼りシート」は「先読みシート」なのです。

現場は、



屋上防水工事中！



窓上の小さな隙間にも断熱材をしっかりと充填！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

週末のイベントで、断熱性能の説明を行う予定でしたので一安心です。

2008・12・05（金）

断熱工事終了

「湯本の家」は断熱工事が終了しました。

グラスウールは寸法の自由がききませんので

近い寸法の材料を数種類用意するか、

1種類の材料を現場の寸法に合わせ1ヶ所ずつ調整して詰めていくか、

悩むところです。

大きな現場でそれぞれの巾毎に工事できるようなら

複数の巾を用意するメリットがあるでしょうけど、

今回も現場は1種類の材料を場所毎に加工して詰めていきました。

以前に、

巾方向に収縮する断熱材を使ったことがありましたが、

梱包の癖が残ってしまい、使いにくいとのこと・・・

個人的には簡単に施工できそうで紹介したのですが、

馴染の大工さんからは不評です（メーカーさん聞いてますか？）

そうして

大工さんが1ヶ所ずつ充填していった断熱材工事が終了です。

防湿シートの処理もキレイです。



ていねいな仕事をする大工さんです。



作業場で加工してきた窓額縁をお湯で拭いてから仕事を始めます。

これで小さな傷が膨らむそうです。

だから現場に電気ポットがあったのね♪勉強になります。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

さてと、

明日行われる「省エネ住宅・エコリフォーム住宅事例見学会」
で使う

資料を作成するとします（←ギリギリまで始められないタイプ
♪）

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

IEでもきちんと見ることが出来るようになりました。

2008・12・06（土）

見学会は無事終了致しました。

「湯本の家」の見学会が終了しました。



前日の夜に資料を作りました。

暖房エネルギー消費量の計算書をつくり、
パネルに工事中の写真を貼り終えたとき外が少し明るかったで
す・・・

計算結果の一部を紹介しましょう。

建物の断熱性能と日射取得熱、夜間の断熱扉などを細かく設定
して

1日の平均室温を18℃（夜間の室温を低くする等で実現可
能）ですと

年間の暖房エネルギー消費量は「557リットル」になります。

これが17℃ですと「455リットル」になります。

例えば、

24時間換気設備の換気回数を0.5回/時から、0.3回/時に減らすと

18℃で「429リットル」となり、

17℃で「345リットル」になります。

建物の性能を何も変えずに、

暖房の設定温度と換気回数を調整するだけで

これだけ省エネになります。

換気回数は「熱交換型の換気扇で調整する」が正解ですが、

「換気扇のスイッチ」を切ることと同じ効果が期待できますが不正解。

くれぐれも『設計屋が止めてもいいと言った!』とか言わないように。

換気扇のスイッチは自己責任で操作して下さいませ。

燃費計算をしたとき、建物の性能は1㎡の消費量で比較できます。

上で書きました設定室温17℃、消費量455リットルの場合ですと

3.3 $\frac{\text{リットル}}{\text{㎡}}$ となります。

いわき市で4 $\frac{\text{リットル}}{\text{㎡}}$ 以下ならかなり省エネ住宅です。

換気回数を調整した場合の値ですが、様々な事情により割愛!

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

この後、

福島方面の温泉街で年末の会議があります。

すでに眠いです・・・

今回は設備工事屋さんの社長が運転手をして下さいますので
たぶん助手席で寝ます。無礼者です！

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

！Eでもきちんと見る事が出来るようになりました。

2008・12・08（月）

道具箱を肩に担いでえ～♪

「湯本の家」では、和室の造作工事が始まりました。

現場には大工さんの道具箱があります。





外に砥石がおいてあり、
何度も何度も「のみ」を研いでいます。
現場で鉋屑（かんなくず）を最後に見たのはいつだったろう？
「のみ」を使える大工さんもいずれ居なくなってしまうので
しょうね。

んっ？

これから20年以上家づくりの仕事続ける予定ですが、
大工さんはいるよね？
まさか既に絶滅危惧種に入っていたりして・・・

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

大工さんは道具箱を肩に担いで現場に来るものだったはず（←古！）

最近ではほとんどの道具が電動で、道具箱は希に使われるだけ。職人技は数値化され機械に変わり、そして消えていくのかな？伝統技術など目に見えないものを失うのは簡単です。

でも、

一度無くなってしまったものの再生には莫大なエネルギーを要します。

今日の価格と効率のみを優先したもののづくりを続ける限り、大切なモノの多くは無くなってから気付くのでしょうか。なんだか書いていて切なくなってきたよ・・・

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

IEでもきちんと見ることが出来るようになりました。

2008・12・10（水）

床材を見に行ってきました！

「湯本の家」の床材が倉庫に届きましたので見に行ってきました。

伐採の基準が厳しくなった「ラオスマツ」です。



違法伐採のために深刻な環境問題が発生していますので、簡単に南洋材を使うのは問題なのですが、国産のマツでいい材料が見つからず、問題意識を持ちつつも選んでしまいました。考え方ですが、コンクリート型枠や紙の原料として伐採されるのではなく

内装材料として使います。

合板ではなく無垢材のままです。

山が成長する時間以上長くこの床材を使うことが重要になります。

もちろん、

地元の木を使うことの方がもっと重要なのは分かりますが、
いい材料に巡り会えないでいます。

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

内装下地の前に電気工事を行います。

例によって、配線を防湿シートにテープで止めます。

何度見ても変です。



和室には、古い建物から持ってきた
柱と落とし掛けが付きました。
お婆ちゃんも喜んでます。



今週末は照明器具の打ち合せを行います。

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

IEでもきちんと見る事が出来るようになりました。

吹き抜け

「湯本の家」は内装工事が始まりました。

ずいぶん前になりますが、

知り合いから天井の高さが「ヒューマンじゃない」と言われました。

それ以来、高さについての検討は常に重要な課題です。

快適さを認知できる天井高さとはどんなものなのでしょう？

当然部屋の広さによっても違ってくるでしょうし、

空間の見通しの良さにも影響を受けています。

つまり、毎回違うということ・・・（悩）

この家は、

屋根断熱で勾配天井にすることができますが

敢えて勾配なしの天井です。



天井高さは4.9m

心地良い低い吹抜けとなるかどうか、
内部足場が取れるまで緊張し続けるのでした・・・

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

日曜日はお客様と照明器具の打ち合わせをする予定です。

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

微妙に更新しています。

2008・12・17（水）

床が仕上がりましたが・・・

「湯本の家」は床の工事中です。



でもね、

仕上がったそばから養生しちゃうんですよ。

全てを見ることができるのは竣工するまでお預けです。

2月中旬までのお楽しみ♪

「家を買う」と言う人と「家を建てる」と言う人がいます。

家を買う人は自動車を買うように完成品を手に入れるのが目的で、

建てる人はその過程を楽しむ人。

設計屋に家づくりを依頼する人はもちろん圧倒的に後者！
私はそのお手伝いをするを楽しんでいます。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：



和室の造作工事が進んでいます。

解体した古い家から持ち込んだ古材がいい感じで馴染んでいます。

骨董品はどこに置いても良く馴染みますが、
時間はあらゆるものの角を丸め、当たりを柔らかくするため
でしょう。

いい和室ができそうです。

感謝感謝！

違わないって！

先日、

マグという断熱材メーカーの幅方向に伸縮する断熱材より一般の断熱材を切って使うほうが楽だという話を書きました（ここ）

すると、

マグの営業マンが飛んできました。あらら、読んでたのねっ♪

そんな訳で

現場の大工さんに再度、何が扱いにくいのかのヒアリングに出発！

自分の仕事じゃないけど、自分が撒いた種ですので・・・
（涙）

大工さん曰く「横方向に縮めると細かな皺ができる」

表面に皺が無い仕上がりを目指している彼には我慢できないとのこと！

「土間のある家」の仕上がりと比較してみたけど、

違わないって！（この
画像と比べてみてよ！）

いつもお世話になっている大工さんですが、

断熱材を綺麗に充填することに対して想像以上の拘りがあるよ

うです。

もしかすると、

「土間のある家」の断熱材は綺麗に仕上げるため

相当苦労したのかもしれませんが、

最終的に隠れてしまう部分ですので、

性能を確保できれば十分だと考えています。

(もちろん雑すぎるのは問題外ですからね)

職人さんと一緒に「ものづくり」をすると勉強することばかりです。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

グラスウールメーカーさんは、新商品を作りっぱなしですよね。

3年以上前の商品なのに、こんなヒアリングもしていないんですから！

外断熱工法を売りたいボード系断熱材のメーカーさんなんて必死で売り込んできます。

様々なマニュアルなども親切にできていると聞きます。

(私のところにはここ数年全く営業に来ませんので風の便りに抛る)

2008・12・18（木）

下地完了

「湯本の家」は内装下地がほぼ全て完了し、
いよいよ仕上げ工事が始まります。
現場には石膏ボードが運び込まれました。



壁にはエアコン設置用のスリーブや換気扇、給気口、電気配線
など

必要な設備が全て設置されています。

下請け業者、現場監督、そして私がそれぞれ何度もチェックし
ました。



それでも間違いは発生します。
スイッチやコンセントの移動などの要望もあるでしょう、
防湿シートと電気配線スペースを分離することで
それらの要望にも対応できるようになっています。
ケーブルをテープで固定してあるのがそれです。
ちょっと見慣れない納まりですが、これでいいのだ！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

ていねいな仕事が全て隠れてしまいます。
将来の改修時に建物の性能を維持したまま
電気工事を行うことができるよう配慮されているのですが、
そのときまでひっそりと待ち続けるタイムカプセルだと言え

ます。

数十年後に改修する業者さんに褒めてもらえたら私の勝ち！
職人の働くモチベーションとは気の遠くなるような時間軸にあります。

自分の消費生活を最優先して、
他人と共同で労働することができない若者が大量生産されていることを
嘆く人がいますが、働くモチベーションについて勉強不足なんだよね。

業務連絡：

「常陸の家」のHPはここ！

ちょっとだけ更新しました。

2008・12・24（水）

階段

「湯本の家」の内部の造作がどんどん進んでいます。



もうすぐ階段ができます。

垂直と水平の世界に斜めの線ができますので

階段のデザインはいつも楽しんでいます。

毎回ですが、

建物の高さを低く抑えて段数が少ない小さな階段を意識しています。

今回は更に小さく見せるために、2段目までを柵にしました。

手摺の格子も楽しんでしまいましたので、大工さんは大変そうです。



和室の欄間には古い建物で使っていた化粧格子を再利用します。

私の無理難題を次々解決してくださる職人さんの技術に感謝！

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

週末には足場が外れます。

足場解体前の検査を行いました、問題無しです。

何度も一緒に「家づくり」をしている大工さんですので、

私が見るであろうツボはしっかり押さえられています。

ちょっとツマンナイ！（←お！）

2008・12・26（金）

階段完成！

「湯本の家」の現場は階段ができました。



最初の2段が無いのは、階段下の棚とつながる設計のためです。

断熱材が充填された壁は、

電気配線のために胴縁でふかす設計になっていますが、
階段の有効幅を少しでも広くするためふかしません。

電気工事屋さんと打ち合わせて

この壁に電気の配線が来ないようにしてあります。

細かい！電気屋さんも、現場監督も、私も細かい！

場所ごとに違う納まりとなる設計を嫌がらない大工さんも偉い
ですね。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

現場近くの古い建物が解体されていました。
屋根の瓦を1枚ずつ手で外していますが、
それをバケツリレーの要領で袋に詰め込んでいます。



スゴイ人数でちょっと滑稽です。安全第一！！

毎日見ていた風景から建物が無くなったときの喪失感が嫌いです。

そこに何が建っていたか思い出せないときなどは、
更に不快になります。

何でも無い風景だったはずなのに、妙な喪失感はいったい何なの？

解体中の写真を残したら少し落ち着くのかな？

2008・12・29（月）

現場は大掃除中！

「湯本の家」は年末の大掃除でした。

丁寧な大工さんはこんなところで差が出ますね。

足場が取れると建物全体が突然現れます。

少々気恥ずかしい日々が続いています。

早く見慣れたい・・・

早く外構工事をして欲しい・・・

ああ～毎回同じことを考えていますね。進歩が無いのかな？



土地の上に何の前触れも無く突然建物が置かれたような
明確すぎる地面との境界が嫌いなんです。たぶん。

内部は、階段下の造作工事の途中です。



暖房用の戻りガラリが隠されています。
床に設ける穴は極力目立たない場所に、
空気の流れを意識して配置しなければなりません（毎回悩みます）

↓面白かったらポチっ↓

[住まいブログ](#)

追記：

事務所の掃除をしなければならないのに、
明日も打ち合わせが1件ある。
今年は少掃除としよう。去年も同じような事を言ったはず（赤面）

2009・01・08（木）

吟味します

「湯本の家」は床材にラオス松を選びました。

南洋材です。

違法伐採などの環境問題や、地産地消といった地場産業活性化など

様々な社会問題に対する明確な回答を持たずに

キレイな材料だからという極めて個人的な理由で選定しています。

こんな仕事を続けていて良心の呵責に耐えることができるのか、

早く違う床材を探さなければなりません！

兎にも角にも、

お客様には大切に使わないとバチが当たると説明してあります。

外国の森から切り出した木です。

その森が成長するより先にゴミになってしまうことだけは避けなければなりません（本気！）

そんな誓いを立てて現場に行くと

なにやら大工さんが悩んでいます。



材料の色斑がかなり酷いとのこと。

以前は黙って源平材が届いたのですが、

そんな上等品は数えるほどで、真っ白がメインの梱包です。

それでも揃ってれば良いのですが、

中には大きな節や、ヤニで真っ黒のモノなども含まれます。

部屋毎に模様を揃え、納戸など目立たない部分に上手に使い回すため

梱包を解いてからまず選別作業です。

それを吟味して、床に並べる作業をします。

どうしても使えない材料は・・・どうしましょ・・・

そんなことを悩んでいました。

そろそろ国内在庫も品薄感が漂ってきました。

大好きな床材でしたが暫くお別れかも知れません（涙）

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：



吹抜けから階段を見下ろしたところ。



吹抜けを見上げると
造り付けの勉強コーナーとロフトの入り口が見えます。

1 月中に大工工事が終了する予定です。
今週末もお客様と仕上げ材の打ち合せです。

2009・01・11（日）

梯子 ♪ 梯子 ♪

週末毎に「湯本の家」の現場でお客様と打ち合せです。

今週末は内装材の色決めでした。

お正月の間にサンプルを見ていただきましたので
お客様が選んだ材料が建物の雰囲気合っているか
私の主観でアドバイスするだけですので、割と短時間で済みま
した。

が、襖紙に水墨画が描かれているものは・・・選び直し！
「おばあちゃんゴメンナサイ！」

それと、

ロフトに上がる梯子の原寸模型で実験しました。



幼稚園に通う末っ子が絶好調で登ってくれました。
完成が楽しみです。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

もちろん来週も打ち合せです。

2009・01・15（木）

食堂の窓

「湯本の家」の現場に行って来ました。



台所から食堂を眺めたところ。

食堂は客間にもなりますので、この開口には扉が付きます。

畳敷きの食堂と台所に立った人との目線が揃うように

台所に床を1段上げてあります。

その段差を生かして掘りごたつも設けました。

当然、

コタツの下には温水暖房用のパネルが設置されてあります。

ちゃんと温まるか楽しみです。



↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

掘コタツは予算の都合で既製品を選びました。

そしたら、コタツの熱源までセットとのこと・・・

でも、でも、

全室暖房の熱源とは別にコタツが使えた方が便利かも・・・

コタツを温めるために全室暖房を使うのももったいないですよ

ね？

つまり、

電気と灯油の「ハイブリッド仕様」というわけ！

上手に使い分けていただきましょう（笑）

2009・01・16（金）

机の設計は・・・リユースです（赤面）

「湯本の家」の子ども室には造り付けの机があります。
吹抜けに面していて巾が2m50cm以上あります。



吹抜けから丸見えでも集中できないときもあるでしょうから
机の前には障子が入ります。

これって、

そう、一昨年前に引き渡した「土間のある家」と同じ設計
です。

お客様が「土間のある家」の内覧会を見て

どうしてもこの机が欲しいと言われ同じモノを設計しました。

設計図面の再利用です。自分の図面ですが何となく罪悪感
(笑)



ちなみに、

3本引きの襖を閉じると机は子ども室の外になります。

この構成も「土間のある家」と同じだったりします・・・

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：



外部の設備工事も同時進行です。
パイプがゴロゴロしています。

2009・01・19（月）

夏の通風計画

「湯本の家」は間もなく大工工事が終了です。

引き続き設備機器の取付けと、内装工事へと進みます。



天井に開いたこの穴は、ロフトへの登り口です。

でももう一つ、

夏の通風口ともなる計画です。

ロフトに設けた高窓と、換気扇2つ！

これらを活用すると、

夏の日中に温められた空気はキレイに排出される予定です。

正直言います。上手く機能するのか今から緊張しています。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

断熱性能を確保した家は、どこもかしこも温かですので、
おいしいお酒や、クリスマスケーキなど、
温度管理が必要なモノの収納スペースを考えておきましょう。



台所の奥に食品庫を設計しました。

断熱材で覆うのが基本です。

戻りガラリ

「湯本の家」は間もなく仕上げ工事に入ります。

その前に、

暖房の空気の流れについてマニアックな説明をしておきましょう。

床下に温水を流す「床下暖房」を採用しています。

南側に設けた大きな窓近くでは、

ガラス面で冷やされ重くなった空気が落ち続けます。

（専門用語でダウンドラフトと言ったりします）

この気流は床を這い廻るため不快です。

断熱性能がいい建物の暖房は、

この不快な気流を無くす事が重要となってきます。

というわけで、

窓の下に温水パネルヒーターを設置します。

そんなことをすると、掃き出し窓などはかなり邪魔になります。

大きな窓にこそ対策が必要ですので、

そこを外すわけにも生きません。

だから「床下」です。

床下にパネルヒーターを配置して、

ヒーター上部にガラリを設ければ「床下暖房」はほぼ完成

です。

でも、

床面のガラリから温かい空気が上昇するだけでは駄目で、
きちんと空気が戻る部分も必要になります。

(戻りガラリといいます)

専門用語連発で理解不能の方も多いでしょうね。

ですので、今回はここで終わり（笑）



通常暖房ガラリは床面に設けますが、

戻りガラリは床である必要はありません。

ユニットバスに面した壁面などは簡単に設置が可能な部分

です。

納戸の壁なら目立ちませんので遠慮無く設置できます。



棚下に引き出し収納を設けると、

その床面は絶好の戻りガラリポイントとなります。

(写真はゴミが落ちるからテープで養生中)

その他、

家具の中木部分に設置する方法や、

窓面のガラリを放熱器よりグーンと長く開けてしまう方法、

土間の段差を利用する方法など、

毎回、建物の間取りに合わせた工夫をしています。

床に変な穴がたくさんあるのは嫌でしょ？

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

戻りガラリは、

暖房ガラリからできるだけ離して設置するのがポイント！

部屋毎に暖房するのではなく、

建物全体で空気の流れをイメージすること！

簡単に書いたけど、

自信を持ってこれができるようになるまで何年も勉強しましたよ！

2009・01・28（水）

堀炬燵

「湯本の家」に堀炬燵が付きました。

どうやって温めるべきか悩んだ部分です。

床下に足を入れるのだから「温水暖房」でしょ？

炬燵のために温水を流すのは駄目です「電気」に下さい！

こんな感じで、

石油連盟代表とオール電化住宅代表とが

脳内首脳会談状態で延々と言い争いを続けていました。

そしたら、3人目の参加者が登場！

彼曰く、

「既製品の堀炬燵には電気のヒーターがセットで付いてきます」

脳内会談中の2人声を揃えて「ナンDEST～??」

それなら両方設置という方向で、

お互いの顔も立ちますし。わっはっはっはっ！！

とまあ、こんな感じで首脳会談は終了。

落ち着くところに落ち着くものです。



炬燵の底に設けるガラリの大きさと位置を決めました。

この下には温水暖房のパネルが設置されます（メイン暖房）
補助暖房として電気のヒーターも付きます（補助暖房）

暖房タイマーが止まっている時間は電気で温めます。
もちろん足を入れてポカポカなら誰もスイッチを入れません。
上手く機能しますように・・・（祈り）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

補助暖房とメイン暖房・・・

あっ！

宇宙戦艦ヤマトのエンジンシステムと同じです（赤面）

業務連絡：

1月29日（木）午後1時半よりしゃべります。 案内はこちら

2月7日（土）8日（日）見学会 案内はこちら

1月30日の朝日新聞に広告が掲載されます。

関東の皆さん、探して下さい。

2月8日（日）午後2時よりしゃべります。 2. 8常陸太田
プログラム.pdf

2009・02・02（月）

手摺り

「湯本の家」の玄関ポーチに目隠しブロックが建ちました！



穴あきブロック好きですので、
これまでもいくつかの家で積んでいます。
今回は玄関からリビングまで見通せてしまいますので
ちょっと小さい穴のものを選びました。

それから、
吹抜けの手摺りも付きました。





こぢんまりとした吹抜けですので、
柱のプロポーションに気を遣ったつもりなのですが
ちょっとゴツイですね・・・耐久性優先ということでっ！（←
カシイ）

2月末頃に内覧会を行う予定です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

横棧の手摺りは足が掛かるため、事故の原因になる場合があります。

今回はお客様と十分打ち合せをしてデザインを決めました。

業務連絡：

2月7日（土）8日（日）見学会 案内はこちら

2月8日（日）午後2時よりしゃべります。 2. 8常陸太田
プログラム.pdf

2009・02・06（金）

階段の手摺り制作中

「湯本の家」の大工さんはかなり面倒な仕事をしています。
真面目な職人さんですので、
一緒に物づくりをしていて勉強になることがとても多い！

そんな職人さんをお願いしているのが階段の手摺りです。



どんな仕上がりになるかは、もう暫くお待ち下さい。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

週末の現場見学会に向け、展示パネルを制作しています。

セミナーで発表する資料が間に合わない・・・

お知らせ：

いわきリエゾンオフィスの佐藤直美さんより、

講演会のご案内 → [ここ](#)

2009・02・09（月）

好きです格子

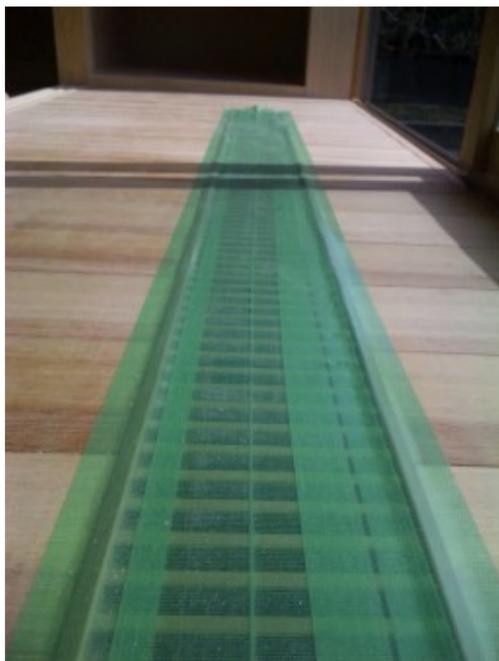
「湯本の家」では大工工事も大詰めで
階段の手摺りや床ガラリなど、細かな作業が進められてい
ます。



階段の手摺りは縦格子～～♪

きれー♪

きれー♪ (←変なテンションです)



床ガラリは塩ビ製・・・

ちょっと物足りないデザインですね・・・

格子の作成は手間が掛かります。

職人さんの手仕事が透けて見えない格子には魅力を感じません。

華奢なデザインは見れば分かりますから扱いが丁寧になります。

モノの寿命は扱う人の気持ち次第ではないかな？

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

週末の疲れが・・・眠い・・・

2009・02・11（水）

外ルーバー

「湯本の家」に外ルーバーが付きました。

この家のロフトは
夏に室内に籠もる熱気を排出させる装置になっています。
ロフトの窓は夏の間中開放しておくとうどうなるか
実験させていただきます。

窓の前に日影ができるよう外ルーバーを設置しました。



ロフトの窓を閉じて、
同じくロフトに設置した夏用換気扇を動かすとどうなるかも
実験する予定です。

「夏も快適な家」が、湯本の家の裏テーマです。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

ルーバーのデザインは難しいです・・・

下から見上げた姿と、遠くから見た姿が全く違います・・・

遠くからじっと見ないで下さい（赤面）

2009・02・12（木）

建具工事中

「湯本の家」では建具工事が行われています。



吹抜けに面したパソコンコーナーは、
その日の気分で障子を開けたり♪閉めたり♪
パソコンのケーブルをキレイに収納するケーブルラック付の机
です。



脱衣室には温水パネルヒーターが付きます。

裸になる部屋ですので他の部屋より暖かくするためです。

使う時間が限られていますので、水量調整バルブを付けました。

お風呂に入る少し前にバルブを開くのは手動制御！

浴室の出入り口近くですとタオルウォーマーにも使えます。

生憎、浴室の出入り口は脱衣室入り口の引き戸の戸袋ですので、

苦肉の策「木製パネル受け」を設置しました。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

2月28日（土）、3月1日（日）の2日間

「湯本の家」完成内覧会を開催いたします。

暖房の試運転も兼ねておりますので、

床下暖房を是非体感してください。

2009・02・15（日）

緩やかな間仕切り

「湯本の家」は2階の子ども部屋に建具が入りました。



2人で使いますので、成長に合わせて家具で仕切る計画です。
仕切るとかなり小さな部屋になりますので、
出入り口にそれぞれ3枚建ての引き戸を設けて、
大きく開放するとこんな感じ！



部屋が広がって、勉強机が登場～～！

更に更に、

机の前の障子を開放すると、こんな感じ！



1階の居間とつながります。

ダラダラとひとつながりの家です。

引き戸は好きな位置で止めることができるので

緩い仕切りとするにはモッテコイのアイテムですね。

子どもが大きくなって独立し部屋が不要になったら

扉6枚を外しワンルームとして使うことも可能です。

(何に使うかは、これからゆっくり考えましょうね！)

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

日曜日ですが、明日締切りの資料を作成しています。

省エネ系のコンテストに入賞したため、

広報誌等に掲載されるパネルが必要になりました (←自慢なのかい?)

2009・02・16（月）

プラレールが入る予定です

「湯本の家」にも付きます。過去最高の4匹〜っ！（笑）



6年前

歯医者さんの待合室にキッズコーナーを設けたとき
冗談半分で図面に落書きした「顔」なのですが、
小さいお子さんがいる家では毎回リクエストをいただく
謎のヒット商品！！

末っ子のプラレールが収納される予定です。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増し
ます。

住まいブログ

追記：

脱衣室に温水暖房のパネルが付きました。
バスタオルを吊すとポカポカになります。
こちらも定番商品となっています。



2009・02・19（木）

「ハイブリッド暖房」って呼ぶ？

「湯本の家」は若干の手直し工事を残しておおよそ完成です。

暖房の試運転がまだですが、
工事中の室内を体感していますので上手くいく手応えは感じて
います。

今回はその暖房の話です。
以前にも書きましたが、
この家にはリビングから1段上がった畳敷きの食堂部分に
掘り炬燵があります。

既製品の掘り炬燵には電気のヒーターがセットで付いてきます
が、
私の現場は床下温水暖房が標準装備・・・
そこで気が付きました。
「両方付けちゃえ作戦！」



わかります？

掘り炬燵の黒いスノコの下に

電気のヒーターと床下暖房用ガラリがあります。

勿論ガラリの下には温水パネルヒーターが置かれています。

暖房が1ヶ所に2種類ダブっていますので勿体ないように見えますが、

そこは考え方です。

冬の夜に室温が徐々に下がり始めたとき、

あと数時間で家族は布団に入るわけですから

全室暖房のスイッチを入れるのはかなり無駄です。

しかし、

室温が17℃程度ですとなんとなく物足りない・・・

いや、

トイレに行くには問題ないけど、くつろぐにはちょっと寒い

！

そんなときは食堂の炬燵に足を入れると「寒くな〜い♪」

炬燵に足を入れれば寒くない家なんて当たり前じゃないか！

そう思われるでしょうが、

床下暖房用パネルに温水が流れていないと

ほとんどガラリからの暖房感はありませんから、

電気ヒーターが付いていないと、

床下暖房のスイッチを入れたくなってしまうのですよ。

温水暖房のパネルは建物全体に配置してありますし、

暖房を切った後も温水は残っていて冷めるのに時間が掛かります。

寝た後までしばらく温かいのは無駄ですから、

夜の暖房タイマーが切れた後は電気による局所暖房に切り替えさらなる省エネ住宅を目指すという作戦です。

この作戦は、

夜遅くまで受験勉強する子ども部屋などでも使えます。

建物全体を温めるのではなく、

電気ストーブなどで小さな空間だけを温めます。

高断熱の技術で

建物内の温度差を最小限に留めることができましたので、

今度は、省エネで快適な温度差を計画する方法を考えていきましょう！

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

床下暖房を設定温度以下に室温が下がらない「ベース暖房」とし、

電気ストーブを足りないところを補う「補助暖房」とするのが落しどころかな？

勿論、ベース暖房のみでも暖房は可能です。

2009・02・22（日）

案内状完成！

「湯本の家」が竣工間近ですので

一眼レフカメラを首から提げて撮影に行ってきました。

目的は内覧会の案内状を作成しなければならないからです。

が、頑張って撮影したのに何故か曲がっている写真達・・・

取り敢えず案内状はこれで済まして、

再度撮影に行ってきます！



(クリックで拡大します)

投函完了！

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

[住まいブログ](#)

追記：

古いお客様や友人など、

案内状の送付先のリストを作成していて口にした懐かしい方に連続して出会いました。

会いたい人の名前は時々口にするとうれしいぞお～！（←ウ

千九)

ハシゴ

「湯本の家」は外構工事を残すばかりです。
特に工事はしていないのですが、
内覧会の案内をしないといけないので、
ロフトに上がるハシゴの画像を載せておきます。



そもそもロフトは子ども専用スペースです。
このハシゴでは大人は登りたくありませんので、
秘密基地指数はかなり高い物となるでしょう。
年齢により大きな差があるハシゴのアクティビティーを悪用し
た、

子ども思いの設計屋なのでした（笑）

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

2階の子ども室がかなりオープンですので、
小さな隠れ家は子どもでも必要だと思っています。
内覧会当日は、
危険ですので小さなお子様の利用は制限する予定です。
期待させてゴメン！

2009・03・02（月）

ありがとうございました。

「湯本の家」の完成内覧会が無事終了いたしました。

2日間で約40組100名の方に
床下温水暖房を体感していただくことができ嬉しく思っています。

前日まで曇りや雨の日が続いていたのに
この2日間は終日「晴天」でして、
暖房を体感していただくには悪条件だったのですが、
多くのお客様からお褒めの言葉をいただくことができました。

他県からのお客様も多数いらっしゃいまして、
「仙台」や「つくば」での仕事のオファーまでいただいたのですが、
ちょっと遠いです・・・でも・・・状況によっては・・・（←
欲張り）

現場の掃除も無事終了しました。
この現場に自由に入出りできるのも今日までです。
毎回書いていますが「娘を嫁に出すような喪失感」を味わっています。
この瞬間が一番苦手です（号泣）

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

仕上げていない図面山積・・・

さあ、次の仕事を始めよう！

2009・03・04（水）

更に省エネを目指します！

「湯本の家」のお客様から電話です。

引き渡し直後ですので緊張して受話器を取ると、

「ハニカムサーモスクリーンを付けたい」とのこと（なあ〜んだ）

そんなわけで、早速窓の寸法を測りに行って来ました。

内装屋さんに電話すれば簡単なのですが、

彼らに依頼すると取付け費が上乘せされます。

何度か取り付けたことがあります、

かなり簡単で素人でもキレイに設置可能ですので、

物だけ取り寄せることになり、私が注文します。

採寸は緊張しますね。

納期を確認したところ「10日」との回答・・・

引っ越し後に必要になる物はたくさんあります。

オーダー品は納期が必要になる場合が多いですので

余裕を持って準備しましょう。

数日間カーテン無しの暮らしとなりそうな予感です・・・

さて、

ハニカムサーモスクリーン設置後のエネルギー消費量ですが、

南側の大きな窓にのみ設置する場合、

Q値2.32は、2.16となり、

年間暖房灯油消費量は553ℓが、452ℓと

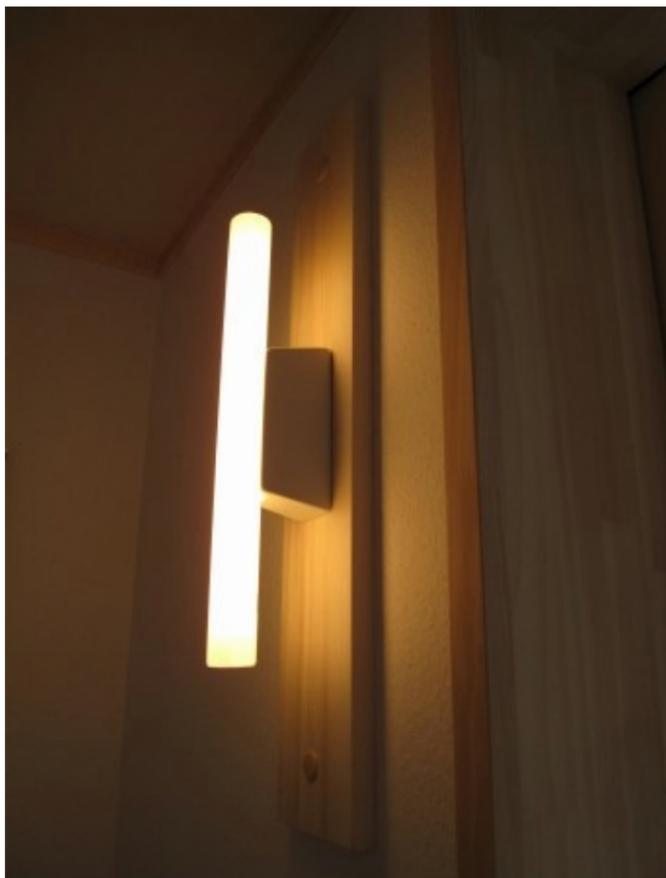
100%以上の省エネが期待できます。

オーダーのカーテンを設置するのとはほぼ同じ価格ですので
費用対効果はかなり良いのではないのでしょうか。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増し
ます。

[住まいブログ](#)

追記：



工事の終わり頃に急遽必要になった照明です。

壁に開いた穴を隠すため集成材の板を張り、
リネストラランプを設置しました。

違和感無し！

ランプの価格がちょっと高いのと、寿命が短いことも説明しました。

2009・03・13（金）

ハニカムサーモスクリーンが付いた！

「湯本の家」に断熱ブラインドが付きました。

商品だけ購入して取付けは家族が行う計画でしたが、
急遽、私もお手伝いしてきました♪

慣れないドライバー仕事です。

中学生の息子さんに見つめられて変な緊張感・・・



それでも無事に取付け完了！



ちょっとだけ上げてみました。

お婆ちゃんに使い方を説明して、業務完了！



断熱ブラインドは取付け簡単です。家族での取付けをお勧めします。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

[住まいブログ](#)

追記：

このブラインドは断熱性能があるのに光を通します。
暗くなってからの外観もキレイなんですよ。



2009・04・04（土）

緑化率

C A S B E E の試験勉強をしていると
今まで漠然とお客様にお勧めしていたことが
環境負荷軽減の点で評価されることだったと分かり嬉しくなり
ます。

「湯本の家」では遅れていた外構工事がようやく始まりました。



駐車スペースを確保したいお客様に
小さくて良いからとお願いして設置した植栽スペースです。

ブロックの色をあれこれ悩んでいた奥様に
自信满满で「これっ！」と指を指した黒い煉瓦ですが、
建物と雰囲気が合っていてホッとしています。
悩んでいるお客様の背中を押してあげるのも仕事ですが、

ちょっと不安もあります。

それでも自信满满で言わないといけなかったり・・・（汗）

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

いわき市では「記念植樹」の補助があるそうです。

お客様から教えていただきました。

小さな花壇には「ハナミズキ」を新築の記念に植樹する予定です。

業務連絡：

4月12日（日）に、

郡山市ビックパレットでしゃべりの仕事をします。

詳しくはこちら→ 4. 12 福島.pdf

そろそろ資料をまとめないと・・・ピンチの予感？

2009・04・06（月）

「CASBEE」やってみた

「CASBEE 戸建て評価員」の受験生ですので、

まずは入門書を読み、

最近の1件の評価を実際にやってみることにしました。

白羽の矢が当たったのが「湯本の家」です。



↑クリックで拡大します。

断熱性能や省エネ面での取り組みは成績につながっていますが、

地元材を積極的に使うことや、植栽計画が足りません。

おかげで成績は「☆×4」です。



↑こちらも拡大するよ！

生ゴミ処理を庭で行い、植木を増やし、地元の木を使うと成績は最高の「☆×5」になります。

レーダーチャートのバランスも良くなります。

何より、

これらの変更は断熱性能確保や全館暖房設備などと比べて極めて安価に済ませることが可能です。

自分で設計した建物の環境性能を評価するのって楽しいですよ

！

つつい「☆×5」を目指してしまいます。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

試験は7月ですので、まだまだ楽しんでいて問題なし！

業務連絡：

4月12日（日）に、

郡山市ビックパレットでしゃべりの仕事をします。

詳しくはこちら→ 4. 12 福島.pdf

2009・04・07（火）

「省エネ基準達成率」を計算してみた

CASBEE を計算した延長です。

「湯本の家」の省エネ達成率を

「基準達成率の計算書作成用WEBプログラム」で計算してみました。

リンク先は建物のエネルギー消費量について

「断熱」「暖房」「冷房」「換気」「給湯」「照明」「太陽光」の

仕様を選ぶことで計算してくれる便利なサイトです。



↑拡大できます

「湯本の家」の達成率は標準仕様を100%とすると104%です。

(何もしない家よりちょっとだけ省エネという意味ね♪)

断熱性能だけではこんな程度なんですネ。

次世代省エネ基準Ⅳ地域での暖房エネルギー消費量は全室暖房でも

光熱費全体の3割程度ですので、そんなもんです(涙)

項目	従来	改築後	削減率
照明	100%	81%	19%
給湯	100%	67%	33%
合計	100%	74%	26%

各室の照明に調光スイッチを設け、
お風呂と台所のシャワーを節水型にし、
手元にスイッチのあるタイプを採用するだけで119%になります。

照明と給湯のエネルギーはそれだけ多いということ。
省エネのツボです。

項目	従来	改築後	削減率
給湯	100%	67%	33%
換気	100%	32%	68%
合計	100%	50%	50%

さらにさらに、
太陽熱温水器と熱交換型換気扇を設置すると132%になります。
断熱性能を大幅に強化するより省エネの効率はいいようです。

例えば、
付加断熱と木製サッシの仕様により「Q値1.9」とした場合

仕様	Q値	消費エネルギー量 (GJ)	省エネ達成率 (%)
標準的な家	1.9	93.6	100
調光スイッチ、節水型シャワー、太陽熱温水器、熱交換換気扇	1.9	60	157
断熱強化	1.14	49.5	190

省エネ達成率は114%です。

建設費の増加は調光スイッチや、節水型シャワーの比ではありません、

寒冷地以外で家づくりをするのでしたら

費用対効果を考えると断熱強化は後回しとするべきでしょう。

ちなみに「Q値1.9」に

調光スイッチ、節水型シャワー、太陽熱温水器、熱交換換気扇まで

採用すると省エネ達成率は157%となります。

このソフトでは、

標準的な家での総エネルギー消費量を93.6GJとしています。

上の仕様ですと60GJまで減ります。おもしろい！

(GJ：ギガジュールと読みます)

最後に、太陽光発電パネルを設置してみましょう。

消費エネルギー量は49.5GJで、達成率は190%となります。

約半分のエネルギーで生活することが可能ということです。

ここまでできるといかに省エネ住宅ですが、

かなりの工事費となるでしょうね。
これって光熱費の先払いといえます。
初期投資の回収が困難な仕様では
地球には優しくても財布には厳しい家ですので、
省エネ技術の価格が落ち着くまでは程々の仕様が良いのではな
いかな？

予算の都合もありますが、
これから建てる家では達成率120%を目標にすることにしま
しょう。
社内規定のバージョンアップです。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増し
ます。

住まいブログ

追記：

あっああ～

以前に建てた家にお住まいのお客様！

調光スイッチと節水型シャワーへの改修はそれほど難しくあり
ません。

興味がありましたらご一報下さいませ♪

断熱仕様の強化はちょっとやそつとではできませんので
先にやっておいて損な話では無かったという事も書き加えてお
きます。

業務連絡：

4月12日（日）に、
郡山市ビックパレットでしゃべりの仕事をします。
詳しくはこちら→ 4. 12 福島.pdf

湯本の家改築物語

著 者：豊田設計事務所 豊田善幸

発行日：2009年04月14日

発行所：Obunest

©2006 EAST Co., Ltd./Obun Printing Company, Inc.

運 営：イースト株式会社

<http://www.est.co.jp/>

PDF変換：欧文印刷株式会社

印刷・製本：欧文印刷株式会社

<http://www.obun.jp/>

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが下記のアドレスにご連絡ください。

mybooks_info@est.co.jp

200904140138-004-DFEBDB



200904140138-004-DFEBDB

背表紙は左のようになります。

半角英数字を使用している場合は半角英数字だけ90度回転した状態になります。
なお製本サービスをご利用の場合、総ページ数が一定のページ数（モノクロは121ページ、カラーは141ページ）に達しない場合は背表紙に文字は入りません。
ご承知おきください。



湯本の家改築物語

豊田設計事務所 豊田善幸

英数字が90度回転しないようにするには....

お申し込み画面の「書籍のタイトル」と「著者名」を入力するときに全角文字で入力してください。

<英数字を半角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

<英数字を全角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

